

2019年度  
会津大学短期大学部研究シーズ集



JUNIOR COLLEGE OF AIZU

公立大学法人

会津大学短期大学部 地域活性化センター



## 「会津大学短期大学部研究シーズ集」更新にあたって

本学は開学以来、地域社会の経済文化の向上を設立使命とし、研究教育に加え、地域研究、公開講座による地域の生涯学習の充実を図るなど知識基盤社会の形成に努力してまいりました。2006年に公立大学法人となり、2007年には、福島県の地域資源を活かした地域活性化を積極的に展開していく組織として、会津大学短期大学部地域活性化センターを開設いたしました。2012年には、東日本大震災とそれに伴う原子力災害からの復旧・復興が喫緊の課題となっていることから「地域貢献に関する基本方針」を決定して本学の地域連携に向けた姿勢を明らかにするとともに、当センターを中心に、地域や地域団体と連携を図り、複雑・多様化する地域課題にこれまで以上に組織的かつ積極的に取り組んでいくことといたしました。

本学には産業情報学科（経営情報コース、デザイン情報コース）、食物栄養学科並びに幼児教育学科があります。当センターは、本学の産業、経営、デザイン、情報、栄養、食品、幼児教育、保育、福祉等くらしに密着した幅広い特色ある専門領域群を活かし、大学と地域社会が連携・共同して課題に取り組むことにより活力ある地域社会を創造することを目指しております。若い学生たちの気づきやユニークなアイデアも活用しながら多様なシーズと地域社会のニーズを融合し、新しい価値観、地域産業、地域社会を創造していきたいと考えております。

2019年4月1日

地域活性化センター長 鈴木秀子

共同研究、受託研究、奨学寄附金及び技術相談等のお問い合わせについて

会津大学短期大学部との共同研究、委託研究、奨学寄附金、技術相談等につきましては、本研究シーズ集をご覧ください、地域活性化センターにお問い合わせください。

本研究シーズ集に記載のない分野についても応じられる場合がございますのでお気軽にお問い合わせください。

※ 会津大学短期大学部の研究シーズ

研究シーズとは科学技術研究の種(Seeds)、つまり将来花咲き実を結ぶ可能性の高い研究をさします。会津大学短期大学部では、産業情報(経営情報・デザイン情報)、食物栄養、幼児教育などの分野においてさまざまな研究を推進しており、そこで生まれた研究成果をわかりやすくまとめ、本学の「知」を産業界や地域・社会に還元するという目的から「研究シーズ集」として公開しております。

お問い合わせ先

公立大学法人会津大学短期大学部

地域活性化センター

〒965-8570 会津若松市一箕町大字八幡字門田 1 - 1

Tel : 0242-23-7034

Fax : 0242-37-2412

URL : <http://www.jc.u-aizu.ac.jp/>

E-mail: [chiiki@jc.u-aizu.ac.jp](mailto:chiiki@jc.u-aizu.ac.jp)

## 目 次

### 1 産業情報学科

#### (1) 経営情報コース

石光 真 (イシミツ マコト)	教授	1
平澤 賢一 (ヒラサワ ケンイチ)	教授	4
中澤 真 (ナカザワ マコト)	教授	6
青木 孝弘 (アオキ タカヒロ)	准教授	9
大橋 良生 (オオハシ ヨシタカ)	准教授	12
八木橋 彰 (ヤギハシ アキラ)	講師	14

#### (2) デザイン情報コース

井波 純 (イナミ ジュン)	教授	16
柴崎 恭秀 (シバサキ ヤスヒデ)	教授	18
高橋 延昌 (タカハシ ノブマサ)	准教授	20
横尾 誠 (ヨコオ マコト)	准教授	22
沈 得正 (シム テークチン)	講師	24
北本 雅久 (キタモト ガク)	講師	26

### 2 食物栄養学科

左 一八 (ヒダリ カズヤ)	教授	28
宮下 朋子 (ミヤシタ トモコ)	教授	31
鈴木 秀子 (スズキ ヒデコ)	教授	33
武井 利之 (タケイ トシユキ)	准教授	35
漆谷 博志 (ウルシタニ ヒロシ)	准教授	37
加藤 亮 (カトウ マコト)	講師	40
小林 未希 (コバヤシ ミキ)	講師	42
阿部 桂子 (アベ ケイコ)	助手	43

水尾 和雅 (ミズオ カズマサ)	助手	44
舟木 乃里恵 (フナキ ノリエ)	助手	46

### 3 幼児教育学科

市川 和彦 (イチカワ カズヒコ)	教授	47
郭 小蘭 (カク ショウラン)	教授	49
河原田 潤 (カワラダ ジュン)	教授	51
若林 達司 (ワカバヤシ タツジ)	准教授	53
木村 淳也 (キムラ ジュンヤ)	准教授	55
久保美由紀 (クボ ミユキ)	准教授	57
鈴木 勲 (スズキ イサオ)	講師	59
吉田 亜矢 (ヨシダ アヤ)	講師	61
渡部 琢也 (ワタナベ タクヤ)	講師	63
葉山 亮三 (ハヤマ リョウゾウ)	講師	66
櫻井 直輝 (サクライ ナオキ)	講師	68



## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

## 〔著書〕

- ①西ドイツの経済安定政策 馬場尚憲責任編集『現代の資本主義 構造と動態』  
御茶の水書房 330～342頁（第4章第2節b）

## 〔論文〕

- ①クーポン税と源泉税——西ドイツにおける債券利子課税の推移——証券経済研究所『証券研究』Vol.88
- ②ドイツ連邦鉄道の経営と民営化の可能性 東北大学経済学会 研究年報『経済学』Vol.52 No.4
- ③ドイツの年金改革——賦課方式内の財源措置と積立方式への部分的移行  
『会津大学短期大学部研究年報』第58号
- ④「日本における出生力低下と人口政策—歴史と経済理論」『東北経済学会誌』2003年度
- ⑤賦課方式年金と反市場主義『会津大学短期大学部研究年報』第62号
- ⑥年金改革の国際比較—日本は何を学べるか『会津大学短期大学部研究年報』第63号
- ⑦ドイツ法定年金給付抑制のメカニズムと補完策『会津大学短期大学部研究年報』第67号
- ⑧スライド率抑制装置の次の課題は何か？—ドイツ年金改革の諸論点—  
『会津大学短期大学部研究年報』第69号
- ⑨ドイツにおける太陽光・風力発電拡大の系統安定性への影響  
『会津大学短期大学部研究紀要』第73号(2016)
- ⑩日独の最近の電力需給をめぐる技術的・社会経済的問題とその対策  
『会津大学短期大学部研究紀要』第73号(2016)

## 〔社会的活動〕

- ①会津若松市下水道料金運営審議会会長（1996～7）（2000）（2003～4）
- ②福島県大規模小売店舗審議会特別委員（1997～2000）
- ③会津坂下町公共事業評価委員会委員（2000～2006）  
会津若松市文化施設指定管理者候補者選定委員会委員長(2005)
- ④会津地方環境パートナーシップ会議代表（2003～2008）  
地球にやさしい“ふくしま”県民会議会津地方会議代表（2008～）
- ⑤会津若松市廃棄物処理運営審議会委員（2007）  
会津若松市行政システム改革懇談会座長（2008）
- ⑥会津美里町公共事業評価委員会委員（2007）  
喜多方市固定資産税税率統一検討委員会委員（2008）
- ⑦会津若松市文化施設指定管理者候補者選定委員会委員長(2009,2013)
- ⑧会津若松市行政機構審議会会長（2010）
- ⑨会津若松市生涯学習総合センター窓口業務プロポーザル審査会委員長(2010,2013)
- ⑩会津若松市廃棄物処理運営審議会会長（2010）



- |   |
|---|
| ⑪会津若松市外部評価審議会（2011～2016）                                      |
| ⑫会津美里町協働のまちづくり推進事業審査委員（2012～）                                 |
| ⑬会津若松市商工審議会会長（2013～2014）                                      |
| ⑭会津若松市農村活性化プロジェクト補助対象事業審査会委員（2013）                            |
| ⑮喜多方市工業振興ビジョン検討会議（2013～2014）                                  |
| ⑯喜多方市工場等立地促進審議会（2013～）  |
| ⑰西会津町総合計画検討会議アドバイザー（2014）                                     |
| ⑱会津美里町補助金等検討第三者委員会委員長（2014～2016）<br>会津美里町総合計画審議会会長（2014～2016） |
| ⑲会津若松市総合政策審議会会長(2015～2016)                                    |
| ⑳大学基準協会短期大学評価委員(2017-2019)                                    |

産業情報学科 教授 博士（学術）

ヒラサワ ケンイチ

平澤 賢一

○所属学会・協会 / 日本経営学会、日本労務学会、国際ビジネス研究学会、異文化経営学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：経営学（国際経営論）

## これまでの研究

- ・人材マネジメント（外資系企業のHRM、障害者雇用）
- ・国際経営（外資系企業を事例として）
- ・上場企業IR（投資家向け広報）部門の社外対応
- ・金融・証券教育

## ●現在の研究テーマおよび概要

現在の研究テーマ：『上場企業IR部門における社外対応活動』

概要：上場企業IR部門（「投資家向け広報」部門）を対象とし、社外対応活動の実務とその効果を、継続的な実態調査を踏まえて明らかにする

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- ・組織・人事制度改革
- ・異文化経営

キーワード：外資系企業・人事部・HRM・人事制度・ダイバーシティマネジメント

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

## [ 著書 ]

「経営の財務」『経営学講義』（中央経済社）

「銀行の海外経営と公式化の意義」『経営の国際開発の関する研究』（多賀出版）

## [ 論文 ]

「上場企業IR部門の社外対応と企業業績—日経225構成銘柄企業の実態調査を中心として—」『経営学論集第88集』（日本経営学会編、千倉書房）に掲載予定

「上場企業IR部門における社外対応活動—日経225構成銘柄企業の実態調査を中心として—」『会津大学短期大学部研究紀要第74号』＜大橋良生氏と共著＞

「米系企業と欧州系企業の人事部比較」『日本労務学会第36回全国大会論集』

「外資系企業人事部の役割と意思決定プロセス」『日本労務学会第34回全国大会論集』

「外資系銀行人事部の役割」『経営学論集：21世紀経営学の課題と展望』（日本経営学会編・千倉書房）

[ 社会的活動 ]

① 会津若松市外部評価委員会(2019)

② 喜多方市行政改革推進委員会(2001-2018)

③ 斎場火葬炉運転維持管理等業務委託プロポーザル選考委員会(2018)

④ 喜多方市環境審議会(2015-2017)

⑤ 福島県立若松商業高等学校学校評議員（2007-2013）

⑥ 福島県立病院事業経営評価委員会（2007-2009）

⑦ 65歳雇用導入プロジェクト事業継続雇用達成会議(2005-2007)

## 産業情報学科 教授 修士（工学）

ナ カ ザ ワ マ コ ト

中澤 真

○所属学会・協会 / 情報処理学会, IEEE (The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.) , ACM (Association for Computing Machinery)

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：知識情報処理（人工知能・機械学習），教育工学，計算量理論

## これまでの研究

- ① 知識情報処理技術を応用した効率的なデータ圧縮法
- ② 人工知能における，漸近的計算限界の解明
- ③ 地域情報データベースの構築

## ●現在の研究テーマおよび概要

- ① プログラミング教育を中心とした情報教育の学習履歴分析
- ② 子ども向け・大学向け・企業向けのICTを活用した学習システムについて
- ③ 統計的アプローチによるビッグデータ分析

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- ① 初等教育向けプログラミング教育の実践
- ② ICTを活用した授業実践指導，e-Learningを活用した授業展開
- ③ ビッグデータ，スモールデータを活用した，マーケティングのためのデータマイニング手法
- ④ 地域情報化・教育の情報化のための支援

キーワード：ICT教育、eラーニング、地域情報化、Webビジネス、データ分析、データマイニング

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[外部資金獲得状況]

- ① 科学研究費補助金－基盤研究（B）  
「言語学習を対象とした時空を越えて相手を感じられる自学自習システムの開発」 2019-2022
- ② 科学研究費補助金－基盤研究（C）代表  
「プログラミング学習時の小学生の思考プロセスの解析とこれに基づく教育支援システム」 2017-2020
- ③ 科学研究費補助金－基盤研究（C）代表  
「コンテキストウェアネスを活用した学習者行動モデルと学習支援環境の開発と実証」 2014-2018

④	科学研究費補助金－基盤研究(C) 「クラウドコンピューティング環境による次世代eラーニングスタイルに関する研究開発」 2011-2014
⑤	科学研究費補助金－基盤研究 (B) 「グローバル・リテラシー大学英語教育のモデル化と自動成果判定システムの開発」 2012-2013
⑥	科学研究費補助金－若手研究 (B) 代表 「情報フィルタリング技術を用いた授業コミュニティ支援システムの構築」 2006-2007
[ 論文 ]	
①	"Development of problem extraction tool for debugging practice using learning history", Proceeding of the 17th Annual Hawaii International Conference on Education , 2019.
②	"On the Influence of Network Quality upon International Distance Learning", 2018 International Conference on Big Data and Education (ICBDE 2018) , 2018.
③	"Scratchを用いたプログラミング学習時の閲覧履歴・編集履歴・脳波履歴を組み合わせた学習者分析", 情報処理学会 コンピュータと教育 (CE) ,2017-CE-138(1),pp.1-6, 2017.
④	"A Method based on Self-study Log Information for Improving Effectiveness of Classroom Component in Flipped Classroom Approach", International Journal of Software Innovation , Volume 4, Issue 2, 2016.
⑤	"Learning Styles for e-learning Systems over Virtual Desktop Infrastructure," Proc. of the 2014 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics, pp.3248-3253, 2014
⑥	"The Influence of QoS on e-Learning Environment under Virtual Desktop Infrastructure", 5th International Conference on Communications, Computers and Applications, pp. 30-34, 2012.
⑦	"地方大学における遠隔講義の実践とその可能性について", 会津大学短期大学部 研究紀要 第69号, 2012.
⑧	"仮想化デスクトップによるeラーニングシステムにおける通信品質が与える影響について", 日本e-Learning学会, 2011年度学術講演会, 2011
⑨	"授業における円滑なコミュニケーション支援のためのLMSの活用について", 会津大学短期大学部 研究年報 第66号, 2009
⑩	"遠隔講義における双方向コミュニケーションについての課題とその解決に向けて", 会津大学短期大学部 研究年報 第63号, 2006.
⑪	"インターネットを用いた大学間連携による遠隔授業の開発と評価", 武蔵工業大学 環境情報学部 情報メディアセンタージャーナル, 第7号, 2006.
[ 特許 ]	
①	問題提示装置、問題提示システム、問題提示方法、及び問題提示プログラム (出願番号：特願2018-192160)
②	分析システム及び分析方法 (出願番号：特願2018-112359)
③	学習支援システム、学習支援装置および学習支援方法 (出願番号：特願2017-017634)
④	eラーニングシステム及びeラーニング用プログラム (出願番号：特願2015-073652)
[ 受賞 ]	
①	第77回情報処理学会全国大会 大会優秀賞受賞 2015
②	第74回情報処理学会全国大会 大会優秀賞受賞 2012
[ 社会的活動 ]	
①	早稲田大学理工学研究所 特別研究部会「次世代eラーニングに関する研究」メンバー

②大熊町未来教育会議 委員

③会津若松市ICT教育支援業務委託プロポーザル選考委員会委員長

④「Pepper社会貢献プログラム」スクールチャレンジコンテンスト（大熊町）審査委員長

⑤一箕小学校との連携事業「初等教育向けプログラミング授業」

⑥第77回情報処理学会全国大会「次世代eラーニング研究シンポジウム～新たなICT活用による学びの変革～」パネリスト

⑦電子情報通信学会 情報理論とその応用シンポジウム2014実行委員

⑧大熊町教育委員会ICT活用実証研究協議会委員長

⑨山形市立商業高校との高大連携事業 遠隔講義 「Webビジネスの可能性」「やさしい暗号のはなし」など

⑩農業従事者向けネットショップ開業セミナー講師（喜多方市との共催，全8回）

## 産業情報学科 准教授 博士（公益学）

ア オ キ タ カ ヒ ロ

## 青木 孝弘

○所属学会・協会 / 日本地域政策学会, 日本生産管理学会, 東北経済学会, 日本NPO学会, 日本計画行政学会, 政府会計学会, 日本公益学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：ソーシャルビジネス論、地域産業論

## これまでの研究

- ①ソーシャルビジネスの経営戦略
- ②震災復興における新たなイノベーション
- ③中間支援機関（インターメディアリー）の機能分析

## ●現在の研究テーマおよび概要

- ①ソーシャルビジネスと地域イノベーション
- ②ICTを活用したグローバルブランディング戦略
- ③起業家育成の国際比較研究
- ④域学連携による地域活性化
- ⑤外国人材受入れの効果と課題

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- ① 経営管理と業績評価（企業、ソーシャルビジネス、自治体、地域）
- ②地域の人材育成
- ③地場産業振興

キーワード：ソーシャルビジネス、業績評価、起業、観光ビジネス

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

## 〔著書〕

- ① 「ソーシャルビジネスの経済価値，社会価値—財務データを活用した2つのアプローチ」 『社会を変える公益ビジネス—地方都市の再生をめざして』 ぎょうせい，2008
- ② 「水辺空間とまちを繋いだ地域づくり—環境創造型の地域活性化と観光戦略」 『第501回建設技術講習会テキスト』，社団法人全日本建設技術協会，2005

## 〔論文〕

- ①「産学官連携による水道事業プロモーション—會津水Caféフェスティバルの事例から—」『会津大学短期大学部研究紀要』（青木孝弘・渡部琢也・葉山亮三・水尾和雅），2019
- ②「助成金はNPO法人の財務基盤強化に資するか？—やまがた社会貢献基金における実証分析—」『会津大学短期大学部研究紀要』第76号，2019
- ③「地方財政健全化に向けた公共施設最適化と公会計の活用—会津若松市の事例から—」『東北経済学会誌』共著（石光真・青木孝弘），2019
- ④「震災復興における地域密着型金融の現状と課題」『東北経済学会誌』，2018
- ⑤「災害復興における新たなビジネス・イノベーション」『会津大学短期大学部研究紀要』第74号，2017
- ⑥「新しい起業教育の潮流と課題—米国先進調査と大学間連携山形講座の実践から—」『東北芸術工科大学紀要』第24号共著（池田知之・青木孝弘），2017
- ⑦「ソーシャルビジネスの評価手法と基盤強化に関する研究」東北公益文科大学大学院博士論文，2016
- ⑧「ソーシャルビジネスの評価プロセスに関する—考察—ステークホルダー参加型評価を中心に—」『会津大学短期大学部研究紀要』第73号，2016
- ⑨「ソーシャルビジネスの基盤強化に向けて—中間支援組織による2つのアプローチの考察—」『会津大学短期大学部研究紀要』第72号，2015
- ⑩「起業家育成の教育効果に関する—考察—社会人力育成山形講座による「見える化」の取り組み—」『東北公益文科大学総合研究論集』vol.25，2014
- ⑪「社会的企業のソーシャル・アカウンティング—地域福祉事業の事例から—」『非営利法人研究学会誌』vol.12共著（青木孝弘・馬場英朗），2010
- ⑫「非営利組織の社会会計—ソーシャル・アカウンティングによる見えない価値の顕在化—」日本NPO学会誌『ノンプロフィットレビュー』vol.9共著（馬場英朗・青木孝弘・木村真樹），2009
- ⑬「西欧にみるローカル鉄道と地域活性化」『公益ビジネス研究vol.2』，東北公益文科大学 学術機関公益総合研究所，2008
- ⑭「地域型ネットワークNGOの発展過程と自己革新の試み」『平成12年度NGO専門調査員報告書』，外務省経済協力局民間援助支援室，2001
- ⑮「NPO支援組織の意義と役割」『日米センターNPOフェローシップパイロットフェロー研修報告書』，国際交流基金日米センター，2001
- ⑯The accountability and management of NGOs, 名古屋大学大学院国際開発研究科修士論文，1997
- ⑰共著Internship/Workshop project for Japanese and American Young NPO Leaders Project Report, Japan Pacific Resource Network, Oakland USA,1996
- ⑱共著An Integrated Development Analysis on the Province of Laguna in the Philippines, 名古屋大学出版会，1996
- 【競争的資金】
- ①「外国人技能実習生ならびに留学生と地域経済とのマッチングに向けて—会津地域における企業調査と現地国の意向調査を通じて—」平成30年度会津大学競争的研究費
- ②「社会的インパクト評価を活用した公共サービスの改善、及び官民連携の促進に関する実践的研究—イギリス、アイルランド先進事例調査—」平成29年度会津大学競争的研究費
- ③「ICTフレームワークを用いたグローバルブランディング戦略—地域創生・復興支援のためのデータ解析と構築—」平成29年度会津大学戦略的競争費、平成30年度会津大学競争的研究費
- ④「被災地における中小企業の戦略的CSRに関する日米比較研究—阪神淡路大震災、東日本大震災、ハリケーン・カトリナの事例から—」平成27年度会津大学競争的研究費
- ⑤「中小企業の戦略的CSRに関する研究—震災復興における新たなビジネスイノベーション—」福島県学術教育振興財団平成27年度、平成28年度、平成29年度



## [ 社会的活動 ]

- |  |
|--|
| ①会津若松市外部評価委員会委員長 (2017.5～2019.3)                         |
| ②編著『会津若松市河東地区まちづくりアンケート調査報告書』2019.3                      |
| ③編著『会津若松市水道事業にかかる情報発信事業企画運營業務成果報告書』2019.2                |
| ④会津若松市 ひらめき女性塾講師 (2018, 全3回)                             |
| ⑤編著『酒田市田沢地区まちづくりアンケート調査報告書』2018.3                        |
| ⑥編著『鷹山地区まちづくりアンケート調査報告書』2017.3                           |
| ⑦監修『会津若松市湊地区地域活性化実践事業報告書』2017.3 (福島県地域振興課)               |
| ⑧監修『会津若松市湊地区まちづくりアンケート調査報告書』2016.3 (福島県地域振興課)            |
| ⑨監修『会津高原チロリアンフェスタ調査報告書』2015.12 (南会津町館岩支所)                |
| ⑩喜多方市基本計画審議会委員 (2015.8～現在に至る)                            |
| ⑪編著『十王地区まちづくりアンケート調査報告書』2015.3                           |
| ⑫喜多方市商業振興ビジョン策定検討会議委員 (2014～2015)                        |
| ⑬会津若松市役所通り商店街振興組合 デザインコンセプト審査委員会委員 (2014～2017)           |
| ⑭会津若松市 きらめき女性塾講師 (2014, 全3回)                             |
| ⑮山形県総合政策審議会委員(2013.4～2017.7)                             |
| ⑯長井市雇用創造協議会 起業セミナー講師 (2013, 2014, 2015各18h)              |
| ⑰南陽・高島・川西地域雇用創造推進協議会 起業セミナー講師 (2013)                     |
| ⑱酒田市 市民大学講座講師(2013, 全3回)                                 |
| ⑲編著『NPO評価検討プロジェクト報告書』, 山形県新しい公共推進協議会 (2013)              |
| ⑳長井市振興審議会委員(2012～2014)                                   |
| ㉑山形県まちづくりサポーター(2009～2013)                                |
| ㉒おきたまネットワークサポートセンター 副運営委員長(2009～2018)、運営委員長 (2018～現在に至る) |

産業情報学科 准教授 博士（経営学）

オ オ ハ シ ヨ シ タ カ

大橋 良生

○所属学会・協会 / 日本会計研究学会, 日本監査研究学会, 日本管理会計学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：会計学

これまでの研究

- ①会計情報の有用性に関する研究
- ②会計情報に基づく企業活動の効果測定に関する研究

## ●現在の研究テーマおよび概要

- ① ゴーイング・コンサーン（GC）情報に対する資本市場の反応  
経営者・監査人が公表するGC情報について、資本市場に対する有用性を分析・考察。
- ② M&A・企業再構築活動の財務的効果の測定  
M&Aを含む企業再構築活動が業績改善に結びついているかを実証的に分析。
- ③ 財務会計における保守主義に関する実証研究  
保守的な会計報告を行う動機・原因とその効果を実証的に分析。

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- ①企業経営における財務コンサルタント

キーワード：会計処理、簿記、会計情報

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]

[ 論文 ]

- ①「支配株主と損失認識の適時性」  
『青森公立大学論纂』（青森公立大学紀要・叢書委員会），第4巻第1・2号，2019年3月，pp. 53-65.
- ②「会計上の保守主義と経営者報酬」  
『会津大学短期大学部研究紀要』（会津大学短期大学部），第76号，2019年3月，pp. 67-81.
- ③「会計上の保守主義と利益特性 -利益の持続性と予測可能性-」  
『会津大学短期大学部研究紀要』（会津大学短期大学部），第76号，2019年3月，pp. 45-66.
- ④「会計上の保守主義と株主資本コスト」  
『会津大学短期大学部研究紀要』（会津大学短期大学部），第75号，2018年3月，pp. 83-99.
- ⑤「会計上の保守主義と将来業績」  
『会津大学短期大学部研究紀要』（会津大学短期大学部），第75号，2018年3月，pp. 63-82.

⑥ 「会社機関の特徴と会計上の保守主義」 『青森公立大学論纂』（青森公立大学紀要・叢書委員会），第3巻第1号，2017年9月，pp. 3-16.
⑦ 「株式所有構造と会計上の保守主義との関連性：既存研究のレビュー」 『青森公立大学論纂』（青森公立大学紀要・叢書委員会），第2巻第1号，2016年9月，pp. 19-25.
⑧ 「上場企業IR部門における社外対応活動－日経225構成銘柄企業の実態調査を中心として－」 『会津大学短期大学部研究紀要』（会津大学短期大学部），第74号，2017年3月，pp. 33-53.
⑨ 「コーポレート・ガバナンスと会計上の保守主義との関連性：既存研究のレビュー」 『青森公立大学論纂』（青森公立大学紀要・叢書委員会），第2巻第1号，2016年9月，pp. 19-25.
⑩ 「会計上の保守主義と社債契約」 『商学討究』（小樽商科大学），第60巻第1号，2015年7月，pp. 207-243.
⑪ Comparative Study on the Effects of Internal Control Reporting in Japan and China, THE KEIZAI GAKU (TOHOKU Univ.), Vol. 75, Nos. 1-2, Mar. 2015, pp. 17-31. (共著)
⑫ 「条件付会計保守主義と借入金契約」 『青森公立大学経営経済学研究』（青森公立大学紀要・叢書委員会），第20巻第2号，2015年3月，pp. 3-15.
⑬ 「株式公開買付による買収プレミアムに対する事前交渉の影響－全部買付案件と部分買付案件との比較－」 『青森公立大学経営経済学研究』（青森公立大学），第19巻第2号，2014年3月，pp. 27-38. (共著)
⑭ 「株式公開買付の実務と制度改正後の傾向」 『地域政策研究』（高崎経済大学地域政策学会），第16巻第3号，2014年2月，pp. 99-114. (共著)
⑮ 「株式公開買付による経営統合化の短期株価効果」 『高崎経済大学論集』（高崎経済大学経済学会），第55巻第4号，2013年3月，pp. 93-105. (共著)
⑯ 「ゴーイング・コンサーン情報に対する市場の反応とゴーイング・コンサーン監査の役割」 『研究年報経済学』（東北大学経済学会），2010年3月. (共著)
⑰ 「企業倒産に対する市場反応とゴーイング・コンサーン情報」 『青森公立大学経営経済学研究』（青森公立大学紀要・叢書委員会），第15巻第1号，2009年9月，pp. 3-15.
⑱ 「負債比率と株主資本コストとの関係－自己資本規模を基準として－」 『税経通信』第61巻第4号，2006年4月，pp. 177-186.
⑲ 「資本金の本来的意義と企業規模に対する投資家の評価」 『研究年報経済学』（東北大学経済学会），第67巻第4号，2006年3月，pp. 85-104.
[ 社会的活動 ]
① 喜多方市環境審議会委員（2017年度－）
② 会津若松市特別職報酬等審議会委員（2016年度）
③ 会津若松市公設地方卸売市場指定管理者候補者審査委員会委員（2015年度）
④ 会津若松市都市再生整備計画事業評価委員会委員（2014年度）
⑤ 会津若松市卸売市場運営検討懇談会委員（2013-15年度）
⑥ 会津若松市都市公園及び市民スポーツ施設指定管理者候補者選定委員会委員（2013年度，2017年度）

産業情報学科 講師 修士（商学）

ヤギハシ アキラ

八木橋 彰

○所属学会・協会 / 日本商業学会、日本消費者行動研究学会、日本地域政策学会、スポーツ・マネジメント学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：マーケティング論、流通論、消費者行動論

## これまでの研究

①買物行動の多様化に関する研究

## ●現在の研究テーマおよび概要

①買物弱者問題に関するマクロ的考察

・ 商業統計や国勢調査などをマクロ・データを用いて検討。

②買物弱者問題に関するミクロ的考察

・ 小売店の立地やロジスティクスなどの商業的視点と中心市街地活性化などの政策的視点から検討。

③スポーツを起点とした地方創生・地域活性化の考察

・ スポーツビジネス、スポーツ・ツーリズムによる地域への経済効果や地域活性化の可能性について検討。

## ●相談に応じられる分野・キーワード

①小売業の流通・販売戦略（インターネット販売・実店舗販売・宅配サービス・ロジスティクスなど）

②買物弱者問題へのアプローチ（まちづくり・中心市街地活性化・移動販売など）

キーワード：マルチチャネル・ショッピング、インターネットショッピング、小売マーケティング、買物弱者問題、まちづくり、中心市街地活性化、地方創生

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

## [ 著書 ]

## [ 論文 ]

①「マルチチャネル・ショッピングの進展がもたらす購買意思決定の多様化に関する実証研究」『慶應義塾大学商学研究科』（修士論文）,2010年.

②「小売業の効率性追求による買物環境へのインパクト」『経済活動のグローバル化と社会』（慶應義塾大学大学院商学研究科 2010年度 大学院高度化推進研究プロジェクト）,2011年,143-153頁.

③「買物行動の多様化に関する実証研究」『慶應商学論集』（慶應義塾大学大学院商学研究科）,2012年,27-45頁.

④「飲食料品取扱い小売業の供給体制に関する理論的考察—小売主導型SCMに着目して—」『会津大学短期大学部研究紀要』,2015年,43-53頁.

⑤「小売構造研究の再検討」『会津大学短期大学部研究紀要』,2016年,101-122頁.

- ⑥「消費者を取巻く買物環境と中心市街地活性化政策に関する考察」『会津大学短期大学部研究紀要』,2017年,95-120頁.
- ⑦「コンビニエンス・ストアの出店活動と物流システムに関する考察」『会津大学短期大学部研究紀要』,2019年,83-105頁.
- ⑧「スポーツマーケティング研究の多様化に関する考察」『会津大学短期大学部研究紀要』,2019年,107-123頁.

[ 社会的活動 ]

- ①河東・北会津地域づくり委員会アドバイザー (2013.7~2014.3)
- ②会津若松市「買い物弱者対策地域協議会」座長 (2014.1~2015.3)
- ③地域産品ブランド認定審査委員会アドバイザー (2014.2~3)
- ④地域産品ブランド認定審査委員会委員長 (2014.4~)
- ⑤会津若松市「農村活性化プロジェクト支援事業認定審査会」委員 (2014.4~)
- ⑥会津若松市「行政提案型協働モデル事業」 (2014.4~2017.3)
- ⑦会津若松市「会津都市計画事業扇町土地区画整理審議会」委員 (2014.5~)
- ⑧会津若松市「ふるさと納税返礼品発送業務委託プロポーザル」委員 (2016.5~)

## 産業情報学科 教授 美術修士

イ ナ ミ ジュン

## 井波 純

○所属学会・協会 / 日本文化財漆協会理事、(社)日本漆工協会、民族藝術学会、地域活性学会漆を科学する会、日本木地師学会、世界漆文化会議、

## ●専門分野とこれまでの研究

## 専門分野：漆工芸全般

## これまでの研究

- ①作品の制作を通し、新たな漆芸表現の可能性についての研究し作品発表を行う。
- ②広島、鳥取、岡山、島根、山口における木地轆轤文化の調査研究
- ③チベット、タイ、ミャンマー、中国、韓国、台湾などアジアにおける漆文化の調査研究
- ④オランダ、スペイン、ポルトガルにおいて中世から近世にかけての輸出漆器に対する現地研究調査
- ⑤東日本大震災にて被災した民俗文化財（南相馬の神楽獅子頭・雄勝桑浜の神輿）の修復

## ●現在の研究テーマおよび概要

- ①美術系大学と連携した会津から全国に発信する漆文化の新たな可能性についての研究と提案
- ②会津若松市主催「まちなかアートプロジェクト」による地域の文化資源の活用・継承・発展を基軸とした漆の可能性について研究
- ③新しい漆芸品の開発に対する研究：美術大学、産地技術者等と連携し、あらたなモノづくりに向けた提案を行う。
- ④各展覧会での作品発表 各地で開催される公募展等に研究作品を出品する。

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- ①漆芸全般について（漆の性質、制作技法、漆装飾表現等）
- ②アジアの漆文化について
- ③漆工芸品および文化財（漆工）の修理・修復について

キーワード：漆、轆轤ろくろ、工芸美術、木地

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

## [ 作品発表 ]

- ①『Prayer』“Asian Lacquer Art Exhibition in Cambodia”アジア漆工芸学術支援事業。カンボディア、シエムリアップにて開催された国際交流展に招待出品

- ②『静域』 「2018中国福建省福州国際漆芸双年展」において、招待作家作品として制作出品
- ③『会津・只見号 漆塗りSLヘッドマーク』 JR東日本企画による特別列車（SL会津只見号）のヘッドマークを日本で初めて漆で制作し、装飾技法に会津漆器の伝統技法（朱磨き）を用いた。
- ④『CORE』 「岡本太郎の博物館・はじめる視点～博物館から覚醒するアーティストたち～」展  
福島県立博物館主催にて乾漆造形作品を制作展示
- ⑤『静境』 第42回東北現代工芸美術展において第1席「河北新報賞」受賞
- ⑥『Sutupa』 「会津・漆の芸術祭」において、招待作家作品として制作、乾漆技法の造形により3.2メートルの塔を制作出品

[ 著書 ]

- ①アジアのうるし・日本の漆（共著・東京美術・1996）

[ 論文 ]

- ①轆轤文化の調査研究－中国地方を轆轤文化と技術を中心に－（広島市立大学特定研究 2008）

[ 社会的活動 ]

- ①日本文化財漆協会理事(2006～)
- ②（社）日本漆工協会会員
- ③会津工芸新生会理事(2007～)
- ④喜多方市美術館「公募・ふるさとの風景展」審査委員(2009～)
- ⑤会津若松市「あいづまちなかアートプロジェクト」総合アドバイザー(2013～)

産業情報学科 教授 芸術学修士

シバサキ ヤスヒデ

柴崎 恭秀

○所属学会・協会 / 日本建築学会、こども環境学会、日本建築仕上学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：建築計画、建築設計、地域計画、アート計画

## これまでの研究

- ①公共施設・住宅の計画・設計
- ②応急仮設住宅・復興住宅の計画・研究
- ③地域材・CLT等の活用研究

## ●現在の研究テーマおよび概要

- ①地域アートプロジェクトの計画  
地域で行われるビエンナーレ、トリエンナーレなどのアート計画・会場構成など
- ②木造住宅における矩計等ディテールに関する研究  
木造住宅のディテールについて、矩計図を主とした従来工法と最新工法の比較や地域性についての研究
- ③杉間伐材を用いた住宅の新構法の研究  
県産杉間伐材を用いた積層パネル構法・新講法について研究し地域材のさらなる活用を検討する。
- ④地域材を用いた仮設住宅・復興住宅の研究  
地域材を用いた木造応急仮設住宅の調査研究及び今後建設される復興住宅への地域材の活用を研究する。
- ⑤CLT等の汎用モデル研究、NCフライスを活用した建築モデルの研究

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- ①建築計画・設計に関する全般
- ②アートプロジェクト・アート計画
- ③地域計画・まちづくり

キーワード：建築計画、建築設計、アート計画、地域計画、まちづくり

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]

- ①「まちを再生する99のアイデア」著書（彰国社・2012）
- ②「木造住宅納まり詳細図集コンプリート版」共著（エクスナレッジムック2008）



## [ 論文 ]

①「復興建築ドキュメント－東日本大震災後の建築と環境」

平成26年度会津大学競争的研究費(復興枠)研究助成

② Wiley Online Library, Article: INAWASHIRO GALLERY - Reconstruction of dozo (warehouse made of soil) destroyed by the Great East Japan Earthquake -

## [ 社会的活動 ]

①福島大学芸術による地域創造研究所連携研究員

②会津若松市景観審議会会長

③福島県建築審査会会長

④ふくしま住宅建築賞選考委員長

## 産業情報学科 准教授 デザイン学修士

タカハシ ノブマサ

## 高橋 延昌

○所属学会・協会 / 日本基礎造形学会、日本デザイン学会、日本色彩教育研究会、アジアネットワークビヨンドデザイン

<b>●専門分野とこれまでの研究</b>	※詳細については個人ホームページで紹介 → <a href="http://www.jc.u-aizu.ac.jp/u/takahasi/">http://www.jc.u-aizu.ac.jp/u/takahasi/</a>
<b>専門分野：視覚伝達デザイン、基礎造形、デザイン教育</b>	
<b>これまでの研究</b>	
①視覚伝達デザインの実践（広告・出版・印刷・パッケージ等、PRデザイン）	
②コンピュータグラフィックスを活用した教育の実態調査（小学校から高校まで）	
③光の軌跡・ライトアートの教材研究（科研費採択等）	
<b>●現在の研究テーマおよび概要</b>	
①地域ブランドもしくは地域活性化に役立つ視覚伝達デザインの提案： 理論や調査だけでなく、実際に形として見えるPRツールを新たに提案できる研究スタイル	
②学生のアイデアを活用した奥会津地方・只見線沿線の活性化デザイン	
③産学連携および小中高大連携事業	
④新しい基礎造形教育（基礎デザイン教育）の開発	
<b>●相談に応じられる分野・キーワード</b>	
①地域ブランドや商品をPRするデザインの提案	
②基礎造形教育（基礎デザイン教育）の調査及び開発	
③ラベルやパッケージ、ポスター等のデザイン提案（学生コンペとしての実施も可）	
④色彩もしくは錯視についてのセミナー	
⑤自治体や各種団体イメージキャラクターやマスコット、ロゴマークなどのデザインもしくは審査	
キーワード：PRデザイン、基礎造形、色彩、錯視、ロゴマーク、パッケージ、マスコット	
<b>●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）</b>	
[ 著書 ]	
①『色のまなび事典』3巻「光であそぶ①光の軌跡」（共著），株式会社星の環会，2015	

## [ 論文 ]

- ①張子「ふわもこ羊」郷土玩具の新たな商品化, 日本デザイン学会作品集「デザイン学研究」第20号2014
- ② 配色技法による地域振興キャラクターの分類とその色彩教育へ利用の可能性, 日本基礎造形学会論文集「基礎造形023」, 2015
- ③光の重色を活用した加法混色教材の試み, アジア基礎造形連合学会2015 成田大会 学会誌, 2016
- ④スーダブル・ギア・デザインの概念と地域活性化への試み: キャラクターをコアにして震災復興および風評被害対策に立ち向かう福島県の事例より, 日本デザイン学会第59回研究発表, 2012
- ⑤奥会津・只見線沿線地域の社会問題を把握するための基礎研究-2015年および2016年の調査より-, 会津大学短期大学部研究紀要第74号, 2017

## [ 社会的活動 ]

- ①国立大学法人福島大学 非常勤講師 (担当科目: 視覚デザインⅠ・Ⅱ)
- ②画像情報教育振興協会 認定CG講師、認定マルチメディア講師
- ③産学連携および小中高大連携事業
- ④ロゴマークやマスコットなど各種デザイン多数 (代表作: 会津美里町「あいづじげん」)
- ⑤福島県食品産業協会「なつはぜふるーてい」考案 (2013年)
- ⑥会津若松市健康増進課「レッツ! こぼりんダンス」 (2014年)
- ⑦会津若松市鶴ヶ城ハーフマラソン大会デザイナー及び広報アドバイザー
- ⑧只見線利活用プロジェクトチーム (所管: 福島県生活環境部)

産業情報学科 准教授 博士（芸術工学）

ヨ コ オ マコト

横尾 誠

○所属学会・協会 / 日本デザイン学会 芸術工学会 Asia Digital Art and Design Association (ADADA)

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：インタフェースデザイン インタラクションデザイン

これまでの研究

- ①アイゲイズインタフェースに関する研究
- ②画面表示される時系列的切替え文字に関する研究

## ●現在の研究テーマおよび概要

- ①フィジカルコンピューティングを使用した入力デバイスとコンテンツの活用に関する研究
- ②携帯端末アプリケーションプロジェクト（画面デザイン）

## 6. 相談に応じられる分野・キーワード

- ①インターフェイスデザイン  
画面デザインと時系列的变化がある画面デザインにおける主観評価など
- ②インタラクションデザイン  
ヒトの行動に反応するモノのふるまいのデザインとその評価

キーワード：ウェブ、画面、インタフェース、インタラクション、エクスペリエンス

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

## [ 論文 ]

- ①“Urushi Rotating Controllers and Interface Design Based on Physical Computing” The 10th Annual Conference of ADADA & the 6th International Conference of TADMD , pp.41-45, 2012
- ②“フィジカルコンピューティングの漆芸作品への展開” デザイン学会 第59回研究発表大会概要集, pp.314-315, 2012
- ③“地域資源の映像コンテンツ制作に関する研究 -取材テーマの類型化とシーン構成のパターン化による作業の効率化-” 芸術工学会 2008年度秋季大会, pp.52-53, 2008
- ④“地域活性化を目的とした地域資源の映像コンテンツ制作とその指導方法” 平成20年度教育改革IT戦略大会, pp.60-61, 2007
- ⑤“アイゲイズインターフェイスにおける文字入力ツール” 芸術工学会, 芸術工学会誌26号, 有, pp.114~117, 2000.
- ⑥“A Design and Design Process of Reading Test Tool for Animating Character Display”4th. Asian Design Conference Bulletin, ISBN4-9980776-0-0 C3072, pp.711~720, 1999.

## [ 特許 ]

①“テキスト高速順次切替表示システムおよびテキスト高速順次切替表示プログラム並びにテキスト高速順次切替表示方法”, 富松潔, 正司 敬之, 福川洋, 横尾誠, 特開2004-220109, 2004

## [ 社会的活動 ]

①会津・漆の芸術祭実行委員 (平成24年度) 2010-2012

②<漆のくに・会津>プロジェクト実行委員  
(平成21年度 文化庁美術館・博物館活動基盤整備支援事業) 2009-2010

③産業人材育成推進協議会 (テクノアカデミー会津) 2008-2011

産業情報学科 講師 博士（工学）

シ ム テ ー ク チ ン

# 沈 得正

○所属学会・協会 / 日本デザイン学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：プロダクトデザイン、感性価値デザイン

### これまでの研究

- ①マレーシアにおける家具の変遷と室内意匠に関する調査
- ②波形単板コアパネルによる軽量家具のデザイン
- ③組み立てやすさを考慮した組み立て家具接合部の提案
- ④染色竹材を用いた効果的な表現手法の模索
- ⑤家具固定を促す内装デザインの提案

## ●現在の研究テーマおよび概要

- ①染色に着目した竹材の有効利用に関する研究
- ②木材の凹凸模様が視・触感的印象を及ぼす影響
- ③自然素材を用いたプロダクトの制作研究

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- ①材料・技術の利活用方法の考案
- ②プロダクトデザインに関する全般

キーワード：材料、家具デザイン、ユニバーサルデザイン、生活用具デザイン

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]

[ 論文 ]

①Survey on Furniture Awareness of Each Race in Malaysia : 5th International Congress of International Association of Societies of Design Research, 1219-1b, 2013

②植物繊維質材による敷物の物理的・感覚的性質:- 現代生活に適した植物繊維質材による敷物の提案(1) : デザイン学研究, 60(6), 55-64, 2014年

③タケの構造に着目した染色方法の検討と染色竹材の印象評価: デザイン学研究, 63(6), 65-72, 2016年

④竹材の染色部位と色が視覚的印象に及ぼす影響: デザイン学研究, 64(4), 1-8, 2017年

[ 社会的活動 ]

①日本デザイン学会論文審査委員会幹事 (2018年4月～)

産業情報学科 講師 修士（造形）

キ タ モ ト ガ ク

北本 雅久

○所属学会・協会 / 日本グラフィックデザイナー協会（JAGDA）

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：グラフィックデザイン

## これまでの研究

- ①印刷表現を主とするデザイン制作
- ②デザイン分野の展示企画

## ●現在の研究テーマおよび概要

- ①グラフィックデザインの制作研究

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- ①グラフィック分野の各種デザイン制作
- ②展示企画
- ③デザイン・造形分野のワークショップ

キーワード：グラフィックデザイン、ポスター、フライヤー、パンフレット、広報物、展示企画、ワークショップ

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

## [ 作品発表 ]

- ①「第12回世界ポスタートリエンナーレトヤマ2018」富山県美術館（2018）

## [ 著書 ]

## [ 論文 ]

## [ 社会的活動 ]

- ①会津若松市「あいづまちなかアートプロジェクト」展示アドバイザー（2015～）、広報物デザイン（2016～）



②第4回「民家の甲子園」福島大会～町並みフォトコンテスト 審査員（2015）

## 食物栄養学科 教授 博士（医学）

ヒダリ カズヤ

## 左 一八

○所属学会・協会 / 日本生化学会、日本薬学会、日本ウイルス学会、日本熱帯医学会、日本糖質学会、日本脂質生化学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：生化学、糖鎖生物学、ウイルス学

## これまでの研究

- ①糖鎖の構造と機能に関する研究
- ②糖鎖認識による病態機構の解明と創薬・診断薬への応用
- ③ウイルスの宿主感染・増殖機構の解明と創薬への応用

## ●現在の研究テーマおよび概要

- ①糖鎖認識による病態機構の解明と診断薬の開発  
単クローン抗体を利用した特異的糖鎖検出系の確立およびそれを用いた病態解明と診断薬開発
- ②ウイルスの宿主認識機構の解明と創薬への応用  
単クローン抗体を利用したウイルス宿主認識にかかわる糖質分子の同定と創薬リードの創出
- ③地域伝統食材に含まれる機能性成分の調査・分析・レシピ開発  
生化学的手法と機器分析を組み合わせた食品中の機能性成分分析法の確立

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- ①糖質の機能性研究
- ②ウイルス感染症関連研究
- ③抗糖鎖抗体を利用した診断研究
- ④食品機能性成分分析研究

キーワード：糖質、糖鎖、シアル酸、ウイルス感染、抗糖鎖単クローン抗体、機能性食品、地域伝統食材

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

## [ 著書 ]

- ①化学療法の領域 「蚊媒介性ウイルス感染症理解の最前線」 フラビウイルス感染症に対する治療薬研究最前線（医薬ジャーナル社） 33巻8号、pp. 132-138 (2017)
- ②化学療法の領域 「飛躍的に発展を見せる抗ウイルス薬」 抗 Dengue ウイルス薬開発の現状（医薬ジャーナル社） 33巻1号、pp. 89-95 (2017)
- ③アレルギー科 「感染症と皮膚疾患」 クロモグリク酸ナトリウムの有する抗インフルエンザウイルス作用（科学評論社） 18巻4号、pp. 330-336 (2004)

④生物化学実験法35巻「ガングリオシド研究法I、II」(学会出版センター) pp. 185-193 (1996)

[ 論文 ]

①Chemical synthesis of 4-azido- $\beta$ -galactosamine derivatives for inhibitors of N-acetylgalactosamine 4-sulfate 6-O-sulfotransferase. Glycoconjugate Journal, 35(5), 477-491 (2018)

②Chemoenzymatic synthesis and characterization of N-glycolylneuraminic acid-carrying sialoglycopolypeptides as effective inhibitors against equine influenza virus hemagglutination. Biosci. Biotech. Biochemi. 81(8), 1520-1528

③Synthesis of p-methoxyphenyl sulfated  $\beta$ -GalNAc derivatives with inhibitory activity against Japanese encephalitis virus. Pure Appl. Chem. 89, 1251-1266 (2017)

④Isolation and characterization of monoclonal antibodies specific for chondroitin sulfate E. Glycobiology, 25(9), 953-962 (2015)

⑤Facile Synthesis of Sulfated Sialoglycopolypeptides with a  $\gamma$ -Polyglutamic Acid Backbone as Hemagglutinin Inhibitors against Influenza Virus. J. Appl. Glycosci., 61, 1-7 (2014)

⑥Measurement of aberrant glycosylation of prostate specific antigen can improve specificity in early detection of prostate cancer. Biochem. Biophys. Res. Commun. 448, 390-396 (2014)

⑦Computational design of a sulfoglucuronide derivative fitting into a hydrophobic pocket of dengue virus E protein. Biochem. Biophys. Res. Commun. 449, 32-37 (2014)

⑧Influenza virus utilizes N-linked sialoglycans as receptors in A549 cells. Biochem. Biophys. Res. Commun. 436, 394-399 (2013)

⑨Improvement of Depression-Like Behavior and Memory Impairment with the Ethanol Extract of Pleurotus eryngii in Ovariectomized Rats. Biol. Pharm. Bull. 36, 1990-1995 (2013)

⑩Carbohydrate-Related Inhibitors of Dengue Virus Entry. Viruses 5, 605-618 (2013)

⑪3-O-sulfated glucuronide derivative as a potential anti-dengue virus agent. Biochem. Biophys. Res. Commun. 424, 573-578 (2012)

⑫Dengue virus type 2 recognizes the carbohydrate moiety of neutral glycosphingolipids in mammalian and mosquito cells. Microbiol. Immunol. 55, 135-140 (2011)

⑬Dengue virus receptor. Trop. Med. Health. 39, 37-43 (2011)

⑭Antiviral agents targeting glycans on dengue virus E-glycoprotein. Expert Rev. Anti Infect. Ther. 9(11), 983-985 (2011)

⑮Antiviral activity of chondroitin sulphate E targeting dengue virus envelope protein. Antiviral Res. 88, 236-243 (2010)

⑯Infectivity and pathogenicity of canine H3N8 influenza A virus in horses. Influenza Other Respi. Viruses 4, 345-351 (2010)

⑰Identification and characterization of flavonoids as sialyltransferase inhibitors. Biochem. Biophys. Res. Commun. 382, 609-613 (2009)

⑱Chemoenzymatic synthesis of sialoglycopolypeptides as glycomimetics to block infection by avian and human influenza viruses. Bioconjugate Chem. 20, 538-549 (2009)

⑲Chemoenzymatic synthesis, characterization, and application of glycopolymers carrying lactosamine repeats as entry inhibitors against influenza virus infection. Glycobiology 18, 779-788 (2008)

⑳Structure and anti-dengue virus activity of sulfated polysaccharide from a marine alga. Biochem. Biophys. Res. Commun. 376, 91-95 (2008)

㉑Binding kinetics of influenza viruses to sialic acid-containing carbohydrates. Glycoconjugate J. 24, 583-590 (2007)

㉒Slow diffusion of lactose out of Galectin-3 crystals monitored by X-ray crystallography: possible implications for ligand-exchange protocols. Acta Cryst. Section D 63, 415-419 (2007)

㉓The New Role of Disodium Cromoglycate in the Treatment of Adults with Bronchial Asthma. Allergology International 56, 231-239 (2007)

- ②④ Suppression of the biosynthesis of cellular sphingolipids results in the inhibition of the maturation of influenza virus particles in MDCK cells. *Biol. Pharm. Bull.* 29, 1575-1579 (2006)
- ②⑤ Identification and characterization of carbohydrate molecules in mammalian cells recognized by dengue virus type 2. *J. Biochem. (Tokyo)* 139, 607-614 (2006)
- ②⑥ Purification and characterization of a soluble recombinant human ST6Gal I functionally expressed in *Escherichia coli*. *Glycoconjugate J.* 22, 1-11 (2005)
- ②⑦ In Vitro and In Vivo Inhibitory Effects of Disodium Cromoglycate on Influenza Virus Infection. *Biol. Pharm. Bull.* 27, 825-830 (2004)
- ②⑧ Identification of glycosphingolipid receptors for pierisin-1, a guanine-specific ADP-ribosylating toxin from the cabbage butterfly. *J. Biol. Chem.* 278, 9972-9978 (2003)
- ②⑨ Engagement of endogenous ganglioside GM1a induces tyrosine phosphorylation involved in neuron-like differentiation of PC12 cells. *Glycobiology* 11, 335-343 (2001)
- ③⑩ Engagement of P-selectin Glycoprotein Ligand-1 Enhances Tyrosine Phosphorylation and Activates Mitogen-activated Protein Kinases in Human Neutrophils. *J. Biol. Chem.* 272, 28750-28756 (1997)
- ③⑪ Complete removal of sphingolipids from the plasma membrane disrupts cell-substratum adhesion of mouse melanoma cells. *J. Biol. Chem.* 271, 14636-14641 (1996)
- ③⑫ Expression cloning of a cDNA for human ceramide glucosyltransferase that catalyzes the first glycosylation step of glycosphingolipid synthesis. *Proc. Natl. Acad. Sci. USA* 93, 4638-4643 (1996)

## [ 特許 ]

- ① 前立腺癌の検出に有用な単クローン抗体およびその抗体をコードする遺伝子 特許6444136号 (2018年12月7日登録)、特願2014-225019 (2014年11月5日出願)
- ② 前立腺癌と前立腺肥大を識別するための方法およびキット 特願2012-226489 (2012年10月12日出願) (国際出願番号: PCT/JP2013/077495)
- ③ 抗 Dengue ウイルス剤 特願2010-248271、(2010年11月5日出願)
- ④ フラボン誘導体の製造方法およびシアル酸転移酵素阻害剤 特願2008-219288、(2008年8月28日出願)
- ⑤ インフルエンザの予防または治療剤 特願2003-129717、特許公開2004-352712、(2003年5月8日出願、2004年12月16日公開)

## [ 社会的活動 ]

会津若松市環境審議会会長 (2018.4~2020.3)

## 食物栄養学科 教授 博士（学術）

ミヤシタ トモコ

## 宮下 朋子

○所属学会・協会 / 日本家政学会、日本調理科学会、日本栄養改善学会、日本災害食学会、日本咀嚼嚥下リハビリテーション学会、日本栄養士会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：調理科学

## これまでの研究

- ①気泡含有食品の性状や嗜好性に及ぼす気泡の影響と嚥下困難者用食品への利用適性
- ②ゼラチンゾルおよびゲルの性状に及ぼす副材料の影響

## ●現在の研究テーマおよび概要

- ①気泡含有食品の性状や嗜好性に及ぼす気泡の影響と嚥下困難者用食品への利用適性  
食品に気泡が混入することによるテクスチャーの変化を利用した、嗜好性の高い嚥下障害対応食品の検討
- ②福島県産自然薯を利用した気泡含有食品  
粘りの強い福島県産自然薯を利用して、菓子、高齢者用食品の開発
- ③塩味感受性を向上させるための教育方法について  
栄養士に必要となる塩味感受性を向上させるための教育方法の検討

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- ①食品の性状や嗜好性に及ぼす気泡の影響と嚥下困難者用食品への利用適性
- ②自然薯を用いた気泡含有食品
- ③塩味感受性を向上させるための教育方法
- ④ゼラチンゾルおよびゲルの性状に及ぼす副材料の影響

キーワード：嚥下困難者用食品、自然薯、気泡含有食品、ゼラチン、高齢者用とろみ剤

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

## [ 著書 ]

- ①『調理学実習 基本調理から給食への展開 第二版』，同文書院(2016) 編著
- ②『新 調理学実習 - 一般調理から大量調理 その基礎と展開 -』，同文書院（2013） 編著
- ③『調理学の基本 - おいしさと健康を科学する -』，同文書院，pp. 23-55（2007）

## [ 論文 ]

- |  |
|--|
| ①『福島県産自然薯を主材にした高齢者用新規食品の開発』，月刊フードケミカル，食品科学新聞社，東京，391，102-107（2017）   |
| ②魚肉混合ムース製品の創成とQOLを高める嚥下困難者用食品への利用適性，日本調理科学会誌，47，84-89（2014）  |
| ③自然薯ゼラチンゲル製品の品質に及ぼす気泡の影響と嚥下困難者用食品への利用適性，日本調理科学会誌，47，17-24（2014）  |
| ④フレンチメレンゲの性状や嗜好性に及ぼす気泡の影響と嚥下困難者用食品への利用適性，日本家政学会誌，64，725-732（2013）  |
| ⑤自然薯蒸しパンの品質に及ぼす気泡の影響と蒸しパン粥の利用適性，日本調理科学会誌，46，53-60（2013）  |
| ⑥Detection and Analysis of the Thermal Conduction in Foodstuffs during Cooling Procedure, Journal of Cookery Science of Japan, 45, 413-421（2012） |
| ⑦イタリアンメレンゲの性状や嗜好性に及ぼすシロップの砂糖濃度の影響，日本調理科学会誌，43，26-33（2010）  |
| ⑧ババロアの物性に及ぼす起泡生クリームの性状とゼラチンゾルの混合温度の影響，日本家政学会誌，57，469-475（2006）   |
| ⑨減塩教育の可能性について - 塩分濃度差識別調査からの検討 - 会津大学短期大学部年報63号，139 - 146（2006）  |
| ⑩熱伝達率を利用した非破壊法による調理食品のゲル化温度の測定 - 従来法との比較 - ，福島大学教育学部理科報告，56，25 - 35（1995）  |
| ⑪寒天混合ゼラチンゾルのゲルへの変換とゲルのレオロジー的特性，日本調理学会誌，27，363-368（1994）  |

[ 社会的活動 ]

- |                   |
|-------------------|
| ①福島県産品選定委員会副会長    |
| ②日本栄養改善学会評議員      |
| ③福島県栄養士会研究教育協議会会長 |

## 食物栄養学科 教授 修士（地域政策）

スズキ ヒデコ

## 鈴木 秀子

○所属学会・協会 / 日本栄養改善学会、日本公衆衛生学会、日本食育学会、日本健康教育学会、日本社会教育学会、日本栄養士会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：公衆栄養 栄養教育・指導

## これまでの研究

- ①食環境整備に関する調査研究
- ②栄養士の就業状況と意識に関する研究
- ③小学生・中学生・高校生・大学生の食生活に関する調査研究
- ④幼稚園・保育所における食育に関する研究

## ●現在の研究テーマおよび概要

- ① 幼児期の食育に関する研究
  - ・ 幼児の身体機能の発達段階に応じた食育の具体的な内容と方法を探る。
  - ・ 幼稚園・保育所の食育について、現状分析と今後のあり方を探る。
- ② 食をとおした地域づくり活動に関する研究
  - ・ 食生活改善推進員の地区組織活動をとおした学びを分析する。
  - ・ 食をとおした健康づくり活動が地域づくりに発展する可能性と要因を探る。

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- ①食育、栄養教育・指導、公衆栄養
- ②食育推進計画、健康増進計画（栄養・食生活分野）の策定・評価
- ③食環境整備（地区組織育成、職域における健康づくり、飲食店等による健康づくり支援）

キーワード：食をとおした子育て・子育て、食育推進計画、食育プログラム、食をとおした健康づくり・地区組織育成

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

## [ 著書・報告書 ]

- ①食育ガイド 幼稚園・保育所から わくわく ときどき きらきら を広めよう！（会津大学短期大学部、福島県保健福祉部,2009.3）
- ②食を通じた子育て・子育て支援事業 食育に関する実態調査報告書（会津大学短期大学部、福島県保健福祉部,2008.3）
- ③食育に関する実態調査報告書（幼児と保護者の食生活に関する実態、幼稚園・保育所における食育の実態）（2015.3）

④健康長寿のための減塩&野菜を食べよう大作戦「食行動実態把握調査結果集計・分析業務」食行動実態把握調査結果集計・分析報告書（会津大学短期大学部、2017.3）
⑤健康長寿のための減塩&野菜を食べよう大作戦「食行動実態把握調査結果集計・分析業務」食行動実態把握調査結果集計・分析報告書（エネルギー及び栄養素摂取量・食品群別摂取量・食行動の関連）（会津大学短期大学部、2018.3）
⑥健康長寿のための減塩&野菜を食べよう大作戦「食行動実態把握調査結果集計・分析業務」平成29年度食行動実態把握調査結果集計・分析報告書（会津大学短期大学部、2018.3）
⑦紙芝居「いただきます ごちそうさま」（会津大学短期大学部、福島県保健福祉部、2009.3）
[ 論文 ]
①福島県における健康づくりのための食環境整備の現状と課題（会津大学短期大学部研究年報第62号、2005.2）
②栄養士・管理栄養士の業務の充実に向けての取り組み（会津大学短期大学部地域総合調査室 地域研究第13号、2007.3）
③栄養士・管理栄養士の業務の充実に向けての検討（第一報）グループインタビューの実施結果（会津大学短期大学部地域総合調査室 地域研究第13号、2007.3）
④栄養士・管理栄養士の業務の充実に向けての検討（第二報）栄養士等の就業状況と意識に関する調査結果（会津大学短期大学部地域総合調査室 地域研究第13号、2007.3）
⑤子どもから家庭へつなぐ食育 ～保護者の「学び」からの検討～（会津大学短期大学部研究年報第67号、2010）
⑥食生活改善推進員会に対する市町村の支援のあり方について ～食生活改善推進員養成講座が及ぼす影響からの検討（会津大学短期大学部研究紀要 第69号、2012）
⑦福島県における幼稚園・保育所の食育の現状と課題 ～栽培活動について～（会津大学短期大学部研究紀要 第73号、2016）
[ 社会的活動 ]
①福島県環境審議会委員
②福島県食育推進ネットワーク会議 副会長
③「健康ふくしま21」評価検討会委員
④ふくしま地産地消大賞審査委員
⑤ふくしま農商工連携ファンド事業審査委員
⑥福島県生涯学習審議会委員
⑦会津地方地域・職域連携推進協議会 座長
⑧会津若松市男女共同参画審議会 会長
⑨喜多方市食育推進会議 委員
⑩喜多方市健康づくり推進協議会 委員
⑪会津坂下町健康づくり推進協議会 委員
⑫日本栄養改善学会東北支部 幹事
⑬公益社団法人福島県栄養士会 副会長



食物栄養学科 准教授 博士（林学）

タ ケ イ ト シ ユ キ

武井 利之

○所属学会・協会 / 日本木材学会、日本農芸化学会、日本応用糖質科学会、日本きのこ学会

●専門分野とこれまでの研究

専門分野：糖化学、林産化学、食品機能

これまでの研究

- ①植物及びきのこ類の細胞壁構成多糖類に関する研究
- ②FT-IRスペクトルを用いた木材及び和紙の非破壊分析に関する研究
- ③地域農林産物のがん細胞増殖抑制成分に関する研究
- ④きのこ及び竹の放射性物質の吸収抑制に関する研究

●現在の研究テーマおよび概要

- ①地域農林産物の成分科学的特徴の解明

●相談に応じられる分野・キーワード

- ①農林産物の低分子成分とその分析方法
- ②農林産物の食物繊維及び関連糖質の分析方法

キーワード：ペクチン、ヘミセルロース、オリゴ糖、がん細胞、アポトーシス誘導、放射性セシウム

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]

[ 論文 ]

- ①福島県のきのこ生産現場における放射性物質の影響と対策、日本きのこ学会誌、Vol.20, 165-170、2012
- ②異なる条件で栽培したナメコ子実体のラジカル消去能、日本きのこ学会誌、Vol.18, 67-71、2010
- ③きのこの有用成分、FOOD & FOOD INGREDIENTS JOURNAL OF JAPAN、Vol.211, No.2, 117-123、2006

- |  |
|--|
| ④ $5\alpha,8\alpha$ -Epidioxy-22E-ergosta-6,9(11),22-trien-3 $\beta$ -ol from an Edible Mushroom Suppresses Growth of HL60 Lukemia and HT29 Colon Adenocarcinoma Cells, Biol. Pharm. Bull.29(4)755-759, 2006 |
| ⑤ Ergosterol Peroxide, an Apoptosis-Inducing Component Isolated from Sarcodon aspratus (Berk.) S Ito, Biosci. Biotechnol. Biochem.69, 212-215, 2005  |
| ⑥ FT-IR法を用いた和紙の非破壊測定、文化財保存修復学会誌、Vol.47, 71-75、2003   |
| ⑦ FT-IR法を用いた木質保存箱の劣化解析、文化財保存修復学会誌、Vol.47, 65-70、2003   |
| ⑧ ニガウリのがん細胞アポトーシス誘導効果、日本食品科学工学会誌、第49巻,250-256、2002   |
| ⑨ 人為的障害に由来するカラマツ材部の劣化、東北森林科学会誌、第7号,20-22、2002  |
| ⑩ ヒメマツタケCJ-01の菌糸成長に及ぼす因子、木材学会誌、Vol.47, 63-69、2001  |
| ⑪ FT-IR法による法隆寺古材の劣化の解析、木材学会誌、Vol.41, 1012-1016、1997  |
| ⑫ オヒルギ胎生種子の細胞壁構成多糖類、マングローブサイエンス、Vol.1, 43-50、1996  |
| ⑬ オヒルギ胎生種子細胞壁調整過程で得られたガラクチュロナン、木材学会誌、Vol.41, 1012-1016、1995  |
| ⑭ オヒルギ葉肉組織からのプロトプラスト調製、木材学会誌、Vol.41, 932-937、1995  |
| ⑮ ラマン散乱スペクトルによる木材とタケのリグニン解析、木材学会誌、Vol.41, 229-236、1995   |
| ⑯ マングローブ樹種の化学成分特性（第5報）、木材学会誌、Vol.40, 868-873、1994  |

[ 社会的活動 ]

- |   |
|---|
| ① 日本きのこ学会評議員  |
| ② 日本応用糖質学会東北支部理事                                      |
| ③ 日本木材学会「放射性物質の木材への影響に関する調査・研究ワーキンググループ」委員（2012年6月まで） |

食物栄養学科 准教授 博士（理学）

ウルシ タ ニ ヒ ロ シ

漆谷 博史

○所属学会・協会 / 日本内分泌攪乱化学物質学会

### ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：比較内分泌学、内分泌学

#### これまでの研究

- ①内分泌学攪乱化学物質による魚類などへの影響に関する研究
- ②有機スズ類による軟体動物腹足類の生殖器官などに対する影響に関する研究
- ③ホルモン受容体を用いた内分泌攪乱化学物質によるホルモン作用の検討に関する研究

### ●現在の研究テーマおよび概要

- ①海産巻貝における有機スズによる細胞死誘導に関する研究  
海産巻貝のイボニシにおける有機スズによるアポトーシス誘導に関する組織学的研究
- ②海産巻貝のホルモン受容体を用いた化学物質による影響検討に関する研究  
海産巻貝のイボニシより単離した様々なホルモン受容体を用いた化学物質影響の評価系開発
- ③海産巻貝を用いた東日本震災による影響に関する研究  
海産巻貝のイボニシを用いた震災影響による生態系影響の評価（準備段階）

### ●相談に応じられる分野・キーワード

- ①内分泌
- ②一般生物
- ③内分泌攪乱化学物質
- ④性ホルモン
- ⑤魚類
- ⑥軟体動物（貝類）

キーワード：内分泌、内分泌攪乱化学物質、性ホルモン、水生動物

### ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]

## [ 論文 ]

- ①Characterization and comparison of transcriptional activities of the retinoid X receptors by various organotin compounds in three prosobranch gastropods; *Thais clavigera*, *Nucella lapillus* and *Babylonia japonica*. Aquatic Toxicology 142-143, 403-413. 2013
- ②Development of reproductive organs in the ivory shell *Babylonia japonica*: Observations from wild populations and laboratory-reared juveniles. Marine Environmental Research 93, 4-14. 2014
- ③Cloning and characterization of the retinoic acid receptor-like protein in the rock shell, *Thais clavigera*. Aquatic Toxicology 142-143, 403-413. 2013
- ④Structure of the intratesticular duct system for sperm emission in the starspotted smooth-hound *Mustelus manazo*. Fisheries Science 79 (2), 203-211. 2013
- ⑤Molecular cloning and characterization of the corticoid receptors from the American alligator. Molecular and Cellular Endocrinology 365 (2), 153-61. 2013
- ⑥Cloning, expression and functional characterization of carp, *Cyprinus carpio*, estrogen receptors and their differential activations by estrogens. Journal of Applied Toxicology 33 (1), 41-49. 2013
- ⑦Vas deferens and penis development in the imposex-exhibiting female rock shell, *Thais clavigera*. Marine Environmental Research 76, 71-79. 2012
- ⑧Comparative responsiveness to natural and synthetic estrogens of fish species commonly used in the laboratory and field monitoring. Aquatic Toxicology 109, 250-258. 2012
- ⑨Cloning and characterization of retinoid X receptor (RXR) isoforms in the rock shell, *Thais clavigera*. Aquatic Toxicology 103 (1-2), 101-111. 2011
- ⑩Molecular cloning of anti- Müllerian hormone from the American alligator, *Alligator mississippiensis*. Molecular and Cellular Endocrinology 333 (2), 190-199. 2011
- ⑪Cloning and functional characterization of Chondrichthyes, cloudy catshark, *Scyliorhinus torazame* and whale shark, *Rhincodon typus* estrogen receptors. General and Comparative Endocrinology 168 (3), 496-504. 2010
- ⑫Molecular cloning and characterization of ligand- and species-specificity of amphibian estrogen receptors. General and Comparative Endocrinology 168 (2), 220-230. 2010
- ⑬Potential Contributions of Heat Shock Proteins to Temperature-Dependent Sex Determination in the American Alligator. Sexual Development 4 (1-2), 73-87. 2010
- ⑭Establishment of a polyclonal antibody against the retinoid X receptor of the rock shell *Thais clavigera* and its application to rock shell tissues for imposex research. Ecotoxicology 19 (3), 571-6. 2010
- ⑮Estrogen-Dependent Transactivation of Amphioxus Steroid Hormone Receptor via Both Estrogen and Androgen Response Elements. Endocrinology 151 (2), 639-648. 2010
- ⑯Environmental health impacts of equine estrogens derived from hormone replacement therapy. Environmental Science & Technology 43 (10), 3897-904. 2009
- ⑰Sexual Reprogramming and Estrogenic Sensitization in Wild Fish Exposed to Ethinylestradiol. Environmental Science & Technology 43 (4), 1219-1225. 2009
- ⑱ *In vitro* assessment of transcriptional activation of the estrogen and androgen receptors of mosquitofish, *Gambusia affinis affinis*. Molecular and Cellular Endocrinology 276 (1-2), 10-17.
- ⑲Comparison of estrogen responsive genes in the mouse uterus, vagina and mammary gland. Journal of Veterinary Medical Science 69 (7), 725-731. 2007
- ⑳Functional associations between two estrogen receptors, environmental estrogens, and sexual disruption in the roach (*Rutilus rutilus*). Environmental Science & Technology 41 (9), 3368-3374. 2007
- ㉑Gene expression change in the Müllerian duct of the mouse fetus exposed to diethylstilbestrol in utero. Experimental Biology and Medicine 232 (4), 503-514. 2007
- ㉒Developmental reproductive effects of exposure to pharmaceutical steroids in the aquatic environment: Studies on mosquitofish (*Gambusia affinis affinis*), roach (*Rutilus rutilus*) and medaka (*Oryzias latipes*). Journal of Marine Biology 2007
- ㉓Medaka (*Oryzias latipes*) for use in evaluating developmental effects of endocrine active chemicals with special reference to gonadal intersex (testis-ova). Environmental Sciences: an international journal of environmental toxicology and chemistry 10 (1), 1-10. 2007
- ㉔Molecular cloning of estrogen receptor alpha (ERalpha; ESR1) of the Japanese giant salamander, *Andrias japonicus*. Molecular and Cellular Endocrinology 257-8, 84-94. 2006

- ⑳Development of metamorphosis assay using *Silurana tropicalis* for the detection of thyroid system-disrupting chemicals. *Ecotoxicology and Environmental Safety* 64 (3), 281-7. 2006
- ㉑All ZZ male *Xenopus laevis* provides a clear sex-reversal test for feminizing endocrine disruptors. *Ecotoxicology and Environmental Safety* 63 (2), 236-243. 2006
- ㉒Availability of in vitro vitellogenin assay for screening of estrogenic and anti-estrogenic activities of environmental chemicals. *Environmental Sciences: an international journal of environmental physiology and toxicology*. 13 (3),
- ㉓Effects of an androgenic growth promoter 17beta-trenbolone on masculinization of Mosquitofish (*Gambusia affinis affinis*). *General and Comparative Endocrinology* 143 (2), 151-160. 2005
- ㉔Cloning and characterization of estrogen receptor alpha in mummichog, *Fundulus heteroclitus*. *Molecular and Cellular Endocrinology* 203 (1-2), 41-50. 2003
- ㉕Early estrogen exposure induces abnormal development of *Fundulus heteroclitus*. *Journal of Experimental Zoology* 293 (7), 693-702. 2002
- ㉖Development and application of an effective detection method for fish plasma vitellogenin induced by environmental estrogens. *Bioscience Biotechnology and Biochemistry* 62 (6), 1196-1200. 1998
- ㉗Apoptosis in adult mouse testis induced by experimental cryptorchidism. *Acta Anatomica* 157, (3), 195-204. 1996

## [ 社会的活動 ]

## 食物栄養学科 講師 修士（栄養学）

カ ト ウ

マコト

## 加藤 亮

○所属学会・協会 / 日本栄養改善学会、日本栄養食糧学会、日本公衆衛生学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：栄養指導、栄養教育、公衆栄養学

## これまでの研究

- ①地域における栄養教育プログラムの開発
- ②個別栄養指導のシステム化、効率化に関する研究
- ③産後の母親のやせ願望と健康観に関する研究

## ●現在の研究テーマおよび概要

- ① 栄養教育ツールの開発  
ICタグとフードモデルを組み合わせた栄養指導ツールの開発、評価
- ② 地域における新しい保健プログラムの開発  
身体活動と食事を組み合わせたプログラムの開発、評価

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- ①生活習慣病予防
- ②栄養教育、栄養指導
- ③地域保健事業の評価
- ④身体活動量の評価

キーワード：栄養指導、栄養教育、栄養教育ツール、予防、身体活動量

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

## [ 著書 ]

- ①『公衆栄養学に必要な統計』  
(公衆栄養学(分担執筆) NEXT栄養科学シリーズ講談社サイエンティフィク 2004・2005年)
- ②『特集日本人の食事摂取基準(2005年版) 高齢者』(臨床栄養Vol.106 No.1(分担執筆) 医歯薬出版 2005年)

## [ 論文 ]

- ①妊娠時肥満を含む母親に対する栄養指導の有効性に関する研究(『栄養日本』第48巻 2005年)

②Effects of Diet and Physical Activity on Obesity and Energy

(『Metabolism in Japan Exercise, nutrition, and Environmental stress』 2004年)

③佐那河内村民の栄養調査 (『阿波学会紀要』 第48号 2002年)

[ 社会的活動 ]

## 食物栄養学科 講師 短期大学士

コバヤシ ミキ  
小林 未希

○所属学会・協会 / 日本栄養改善学会、日本給食経営管理学会、日本災害食学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：給食経営管理

## これまでの研究

- ①家庭調理における大豆の放射性セシウムの除去に関する研究
- ②家庭調理におけるローリングストック法に関する研究

## ●現在の研究テーマおよび概要

トレハロースは、澱粉の老化・たんぱく質凝固・脂質の酸化および褐変等の抑制効果が高いことから、給食提供における各調理工程でトレハロースを添加し、衛生面や料理としての品質評価を行う。そして大量調理へ導入する可能性を追求する。

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- ①小・中学生の料理教室
- ②食に関する授業
- ③栄養教育

キーワード：栄養指導、料理教室

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]

[ 論文 ]

- ①大豆の家庭調理による放射性セシウム量の低減（小林未希、齋藤文也、日本災害食学会誌, vol.1 No.1, 59-63, 2014）

[ 社会的活動 ]



## 食物栄養学科 助手 学士（食物栄養学科）

ア ベ ケ イ コ

## 阿部 桂子

○所属学会・協会 / 日本栄養士会、日本栄養改善学会、日本食生活学会、日本調理科学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：給食管理、公衆栄養

## これまでの研究

会津伝統食材についての研究

## ●現在の研究テーマおよび概要

①会津伝統食材オタネニンジンを使用した機能性と嗜好性に優れたメニュー開発

②効果的な減塩普及の取り組みについて

## ●相談に応じられる分野・キーワード

①離乳食に関すること

②親子料理教室

キーワード：離乳食、親子料理教室

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]

[ 論文 ]

[ 社会的活動 ]

①喜多方市勤労青少年ホーム運営委員会委員

## 食物栄養学科 助手 修士（人間文化学）

ミズオ カズマサ

## 水尾 和雅

○所属学会・協会 / 日本栄養士会、日本調理科学会、日本家政学会、日本食品科学工学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：調理学

## これまでの研究

- ①ガス加熱とIH加熱が大根への塩化ナトリウムの浸透およびテクスチャーへ及ぼす影響について
- ②大学教職員を対象とした栄養アセスメントに基づく給食経営管理実習の試みについて
- ③ベーカドチーズケーキの性状と動的粘弾性挙動に及ぼす鶏卵の影響について

## ●現在の研究テーマおよび概要

- ①菓子類に含まれる卵の乳化性について
- ②気泡を多く含有する焼成菓子における油脂の影響について

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- ①お菓子作りにおける卵の乳化性について
- ②簡単な料理教室

キーワード：卵、乳化性、料理教室

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

## 〔著書〕

## 〔論文〕

- ①大根の加熱および保存過程がコラーゲン、グリセリド、塩化ナトリウムの浸透および硬さに及ぼす影響（『日本調理科学会誌』44巻、2011年、共著）
- ②大学教職員を対象とした栄養アセスメントに基づく給食経営管理実習の試み（『日本栄養士会雑誌』54巻、2011年、共著）
- ③Effects of cooking process with ginger juice and kiwifruit juice on the collagen and the lipid contents of “Kakuni pork”（『日本調理科学会誌』44巻 2011、共著）
- ④食事摂取基準に示された「美味しく楽しく食べることのできる食事」を理解させるための給食経営管理領域における試み（『日本栄養士会雑誌』55巻 2012、共著）

⑤Lipid Distribution and Rheological Properties of Creamy Custard Pudding Prepared with EggYolk and Milk Fat Cream(『日本調理科学会誌』 45巻 2012, 共著)

[ 社会的活動 ]

## 食物栄養学科 助手 学士（栄養学）

フ ナ キ ノ リ エ  
舟木 乃里恵

○所属学会・協会 / 日本栄養士会、日本栄養改善学会、日本公衆衛生学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：栄養教育、応用栄養学

## これまでの研究

食環境整備に関する研究

## ●現在の研究テーマおよび概要

職域における食環境整備に関する研究

## ●相談に応じられる分野・キーワード

①幼児期・学童期の食育

②料理教室

キーワード：食育、料理教室

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]

[ 論文 ]

[ 社会的活動 ]

幼児教育学科 教授 社会福祉学修士

イチカワ カズヒコ

市川 和彦

○所属学会・協会 / 日本社会福祉学会、日本産業カウンセラー協会、日本社会福祉士会、日本自閉症スペクトラム学会

### ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：障がい児保育、障がい者福祉論、社会福祉援助技術論

#### これまでの研究

- ①施設内虐待の発生機序と防止に関する研究
- ②強度行動障害に対する治療と援助技術に関する研究
- ③社会福祉施設における援助者のメンタルヘルスに関する研究
- ④社会福祉施設従事者のアンガー・マネジメントに関する研究

### ●現在の研究テーマおよび概要

- ①虐待防止ツールとしての事例検討とロールプレイ、ワークショップに関する研究
- ②施設内における援助者に対する他傷・暴力に関する研究
- ③知的障害のある方の性的問題に関する研究
- ④障害児者との「触れる関わり」「ダンスビック」の実践的研究

### ●相談に応じられる分野・キーワード

- ①施設内虐待の防止と対策に関して
- ②施設内暴力（利用児者から援助者に対する）の防止と対策に関して
- ③事例検討・ロールプレイの持ち方、進め方に関して
- ④重度障がいのある方への非言語的関わり方に関して
- ⑤知的障がい児者・児童の性的問題に関して

キーワード：施設内虐待、行動障害、怒り、障がい児、障がい者、触れる関わり

### ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]

①「施設内虐待～なぜ援助者が虐待に走るのか～」誠信書房，2000.

②「続・施設内虐待～克服への新たなる挑戦～」誠信書房，2002.

③「虐待のない支援～知的障害の理解と関わり合い～」誠信書房，2007.

④「施設内暴力～利用者からの暴力への理解と対応」誠信書房，2016.

#### [ 論文 ]

①「施設内虐待の概念に関する研究～主に施設内体罰の定義と目的についての考察～」  
和泉短期大学研究紀要，2005.

②「軽度知的障害者のワークショップの取り組みから～施設内虐待に対する子どもたちによるセルフアドボカシーの可能性～」，日本子ども虐待防止学会，2006.

③「知的障害者に対する呼称のありかたに関する考察～ちゃん・くん呼びがなぜ不適切なのか～」  
キリスト教社会福祉学研究，2009.

④「施設内における援助者の”からかい”についての一考察～対人援助の”誤った家族化”による影響～」  
和泉短期大学研究紀要，2010.

⑤「施設内虐待の防止～虐待に走る援助者の心理過程と自己理解～」矯正協会『刑政』2010.

⑥「障害者虐待事例にみる虐待防止法への提言～人間性への挑戦としての虐待防止法～」  
現代書館『福祉労働』，2010.

⑦「保育者・支援者との”触れる関わり”が障がい児者に及ぼす影響～主に自閉症スペクトラム（ASD）における人間関係能力発達の視点から考える各アプローチの包括的理解～」会津大学短期大学部研究紀要第72号，2015.

⑧保育者・支援者と障害児者で実施される“触れる関わり”の実際～主に知的障害・自閉症スペクトラム（ASD）児者における人間関係能力の発達を促す技法

⑨幼児教育におけるトライアングル・エフェクト(triangle effect) 視点から考える個別の教育支援計画の可能性～幼稚園における発達障害児者を対象とした自立に向けての取り組みから～会津大学短期大学部「幼児教育研究」第3号，

⑩就学前支援において地域支援センターとして特別支援学校に求められるもの～親の障害受容の過程にどう関わるか～  
会津大学短期大学部研究紀要第75号，2018.

⑪シンクロダンスが、障害児者・援助者相互に及ぼす影響～主に知的障害・自閉症スペクトラム（ASD）における他者との対人相互関係の特徴と変化の視点から～会津大学短期大学部「幼児教育研究」第4号，2018.

#### [ 社会的活動 ]

①知的障害者施設「横浜市松風学園」スーパーバイザー

②知的障害者施設「福生学園」「福生第二学園」スーパーバイザー

③会津若松市自立支援協議会権利啓発部門委員

## 幼児教育学科 教授 教育学修士

カク ショウラン

## 郭 小蘭

○所属学会・協会 / 日本保育学会会員、日本発達心理学会会員、日本教授学習心理学会会員、日本子ども学会会員、日本赤ちゃん学会会員、日本心理臨床学会会員

## ●専門分野とこれまでの研究 発達心理学・臨床心理学・保育学

## 専門分野: 発達心理学・保育学

## これまでの研究

- ①就学前児をもつ中国の母親の信念—指導法に関する母親の信念、行動及び子どもの表象的思考力の関係
- ②中国の子育てと親の持つ価値的背景について
- ③学校臨床におけるスクールカウンセラーの役割について
- ④子育て支援の取り組みの実態—会津地域の事例から
- ⑤幼児教育現場の教材から見た幼児の遊びの指導法
- ⑥布遊具遊びに見られる幼児の思考力の芽生え

## ●現在の研究テーマおよび概要

- ①保育の教材研究
- ②授業研究（学生の保育実践力の向上につながる授業の方法）

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- ①子育てに関する相談

キーワード：子どもに対する接し方

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

## [ 著書 ]

- ①三神廣子・梶田正巳・中野靖彦編著 『新・こどもの心理』 2-4、3-4、4-3、5-1 単著  
福村出版株式会社 1996. 54-58、85-88、110-114、130-133
- ②棚橋昌子・白石淑江編著『親と子のメンタルヘルス』 5-1、5-2 単著  
中央法規出版株式会社 1997. 133-142、143-163
- ③小嶋秀夫・河合優年編 『児童心理学』 第8章 単著 近畿大学豊岡短期大学発行 1991.73-78
- ④岸井勇雄監修 上野恭裕編著 『おもしろく簡潔に学ぶ保育内容総論』 4-3 単著 保育出版社 2008. 59-62

⑤咲間まり子編著 『コンパス 乳児保育』 4-2 4-3 単著 建帛社 2018年2月. 41-45

[ 論文 ]

①就学前児をもつ中国の母親の信念—指導法に関する母親の信念、行動及び子どもの表象的思考力の関係  
単著 1991. 発達心理学研究第2巻、第2号、60-69

②父娘関係、父親像と娘からみた父親の魅力 共著 南山大学『アカデミア』人文・社会科学編 第61号  
1995. 195-227

③日本と中国の大学生のストレスとその対処行動 共著 東京学芸大学紀要、第一部門教育科学 第47集  
1996. 7-15

④中国の子育てと親の持つ価値的背景について - 99年度面接調査からの予備的分析 共著  
平成10-12年度 科学研究費補助金 基盤研究 (A)(2) (海外) 研究成果報告書 2001. 117-134

⑤学校臨床におけるスクールカウンセラーの役割 - 女子中学生のリストカット事例からみた学校システムに対する  
支援について 共著 会津大学短期大学部研究年報 第63号 2006. 83-91

⑥子育て支援の取り組みの実態 - 会津地域の事例から 単著 『福島県における子育て・子育て支援に関する  
調査研究』報告書 社会福祉法人福島県社会福祉協議会 2008. 129-136

⑦不登校生徒をもつ母親の面接過程 - 接し方を巡る母親の葛藤 単著  
会津大学短期大学部研究年報 第66号 2009

⑧不登校生徒を抱える母親への支援—第三者の視点に立ち、わが子の心理を理解することへのアプローチ  
単著会津大学短期大学部研究年報 第67号 2010

⑨学生の保育実践力を高めるゼミ研究の教学效果についての考察—幼児向け布絵本制作実践例 単著  
会津大学短期大学部研究年報 第72号 2015

⑩布玩具魚つり遊びに見られる幼児の発達段階の違いと効果的な指導法について 単著  
会津大学短期大学部研究紀要 第73号 2016

⑪幼児教育現場の教材から見た幼児の遊びの指導法 単著 会津大学短期大学部研究紀要 第73号 2016

⑫自由遊びにおける保育者の指導法に関する実践研究—倉橋惣三「保育法の原則」の視点からの分析 単著  
会津大学短期大学部幼児教育学科『幼児教育研究』 第3号 2017

⑬布遊具遊びに見られる幼児の思考力の芽生え 単著 会津大学短期大学部幼児教育学科『幼児教育研究』  
第3号 2017

[ 社会的活動 ]

①会津学鳳中学校高等学校の学校評議員 (H19.4からH25.3)

②会津若松市男女共同参画審議会委員 (H17.5-H18.4)

③会津若松市湊しらとり保育園指定管理者候補者選定委員会委員 (H28.7-)

④会津若松市子ども・子育て会議の委員 (2017-現在)



幼児教育学科 教授 芸術学修士

カワラダ ジュン

河原田 潤

○所属学会・協会 / 日本保育学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：幼児音楽、器楽合奏全般、オーケストラ・室内楽奏法（コントラバス）

## これまでの研究

- ①保育現場で必要とされている楽器の取り扱い方とその演奏法について
- ②保育者に必要とされる音楽理論
- ③音楽を通じた子どもとの関わり方について

## ●現在の研究テーマおよび概要

## ①基礎的・基本的な音楽理論と技術の習得について

保育者を目指す、「音楽」が苦手な学生に対して、いかに「音楽」に親しみ、楽しむことが出来るかを共に考え、興味や関心を持てるような指導の仕方に取り組んでいます。

## ②保育現場で扱われる楽器を使った合奏について

楽器は「道具」であることを、子どものみならず保育者も知ることで、楽器に対する正しい知識を身に付け、自分で出す音に新しい発見があったり感動する気持ちを持ってもらいたいと思っています。

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- ①幼児の音楽
- ②保育者に必要とされる音楽理論
- ③室内楽・オーケストラの指導

キーワード：音楽、音楽理論、合奏

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]

[ 論文 ]

- ①幼児保育現場で取り上げられる「子どもの歌」と考察 —保育実習アンケートによる幼児音楽について—  
常葉学園短期大学紀要 第38号 単著、2007、P.103-112

②幼児保育現場で取り上げられる「子どもの歌」と考察2 —保育実習アンケートによる幼児音楽について— 常葉学園短期大学紀要 第39号 単著、2008、P.49-57
③保育現場で使用される楽器の基本的な取り扱い方と、子どもへの働きかけについて 常葉学園短期大学紀要 第41号 単著、2010、P.91-100
④保育士養成系に学ぶ学生のピアノ力の現状と、それに伴う問題と課題について考える —本学学生の実態を基にして— 常葉学園短期大学紀要 第43号 単著、2012、P.115-122
⑤保育士・幼稚園教諭養成系における「音楽理論」の必要性和授業展開についての一考察 常葉大学短期大学部紀要 第46号 単著、2015、P.129-138
[ 社会的活動 ]
①全国保育士養成協議会関東ブロック実行委員として、全国保育士養成セミナー第49回研究大会（平成22年9月15～17日）実行委員（H.21.5.1-H.23.3.31）
②幼稚園教諭対象教員免許更新講習における、表現系音楽講師（常葉大学短期大学部主催 平成23年度～平成27年度）
③職業音楽家（コントラバス）として、室内楽・プロオーケストラへのエキストラ出演等の演奏活動（現在も継続）
④室内楽・オーケストラ・吹奏楽（パートを含む）の指導活動（現在も継続）

幼児教育学科 准教授 文学修士

ワカバヤシ タツジ

若林 達司

○所属学会・協会 / 中世英文学会、日本英文学会

### ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：中世イギリス文学、英語圏の文学

#### これまでの研究

①中世イギリス文学

②Geoffrey Chaucer研究

### ●現在の研究テーマおよび概要

①中世イギリス文学

②Geoffrey Chaucer研究

③1950年代、戦後イギリス社会研究

### ●相談に応じられる分野・キーワード

①英語文学

②英語教育（英語発音、英文法、英文読解）

③イギリス社会

キーワード：英語、文学、教育、発音、文法、読解、イギリス社会

### ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

#### [ 著書 ]

①『インターナショナル日本語英語新辞典』実教出版 平成6年6月 共著

②『概説イギリスの文学』桐原書店 平成7年1月 共訳

#### [ 論文 ]

①『The Parlement of foulesにおけるGoddesNatureについて』静岡英和女学院短期大学紀要30号 静岡英和女学院短期大学 平成10年2月

②『チョーサーにおける「権威」と「経験」：バースの女房と結婚談義を中心に』静岡英和学院大学紀要4号 静岡英和学院大学 平成19年2月

③『イギリス東部を襲った1953年North Sea Flood 異文化理解の糸口として (1953 North Sea Flood - A Clue to Cross Cultural Understanding)』 『新教職課程を構成する科目の内容編成に関する総合的研究』 静岡

[ 社会的活動 ]

①『英語ワンポイント講座』 静岡英和女学院短期大学公開講座 静岡英和女学院短期大学 平成12年6月

②『公開講座番外編 英語連続講座』 静岡英和学院大学公開講座 静岡英和学院大学 平成21年6月 公開講座の本テーマとは別に連続講座を4回開講

③『「夢」で読み解くヨーロッパ古典文学』 静岡英和学院大学公開講座 静岡英和学院大学 平成25年10月

## 幼児教育学科 准教授 修士（コミュニティ福祉学）

キ ムラ ジュン ヤ  
木村 淳也

○所属学会・協会 / 日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、日本保育ソーシャルワーク学会、日本学校ソーシャルワーク学会、日本介護福祉学会、日本社会福祉士会、福島県スクールソーシャルワーカー協会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：社会福祉学

## これまでの研究

- ①福祉施設における不適切な援助関係に関する研究
- ②東日本大震災後の援助者支援に関する実践研究

## ●現在の研究テーマおよび概要

- ① 東日本大震災後の援助者支援に関する実践研究
- ② スクールソーシャルワークに関する実践研究

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- ①施設における援助者支援
- ②地域における援助者支援

キーワード：援助関係、ソーシャルワーク・スーパービジョン、連携、協働

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

## [ 著書 ]

- ①「保育者の協働性を高める 子ども家庭支援・子育て支援」、晃洋書房、2019、共著.
- ②「ソーシャルワーカーのソダチ」、生活書院、2017、共著.
- ③「ソーシャルキャピタルを活かした社会的孤立への支援」、ミネルヴァ書房、2017、共著.

## [ 論文 ]

- ①「スクールソーシャルワーカーに対するスーパービジョン実践の課題と考察」 会津大学短期大学部研究紀要 第76号、2019、単著.
- ②「福島県における生活支援相談員に対するスーパービジョン実践と課題（第2報）」 会津大学短期大学部研究紀要 第72号、2016、単著.
- ③「グループ・スーパービジョンにおけるスーパーバイザーの役割と課題－社会福祉協議会における職場内研修の実践から－」 会津大学短期大学部研究紀要 第72号、2016、単著.

## [ 社会的活動 ]

①福島県介護保険審査会 委員

②福島県教育委員会 スクールソーシャルワーカー スーパーバイザー

③福島県教育委員会 生徒指導アドバイザー

## 幼児教育学科 准教授 修士（社会福祉学）

ク ボ ミ ユ キ  
久保 美由紀

○所属学会・協会 / 日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、日本居住福祉学会、全国老人福祉問題研究会、医療福祉問題研究会、貧困研究会、公的扶助研究会、日本社会福祉士会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野 : 地域福祉、高齢者福祉

## これまでの研究

- ①ニーズ把握の方法とサービス資源の整備に関する研究
- ②社会福祉サービスアクセス困難状況の構造的把握とその支援システムの構築に関する研究
- ③高齢期にある人びとの地域生活実態の把握とその支援の方法に関する研究

## ●現在の研究テーマおよび概要

- ①中高年齢層の生活継続のための支援方法に関する研究  
地域で生活する中高年齢層の生活リスクを軽減、回避し生活を継続できるように支える援助方法論の構築
- ②地域の福祉力向上のための拠点機能のあり方に関する研究  
地域資源としての社会福祉施設の拠点化やその人材確保・育成
- ③社会福祉サービスアクセス保障に関する研究  
社会福祉サービスアクセスに関する現状把握とアクセス保障を可能とする援助方法論の構築

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- ①高齢者の地域生活支援の方法
- ②地域における福祉力の組織化の方法

キーワード：高齢者の生活支援、福祉計画、地域ケア、コミュニティ・ソーシャルワーク

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

## [ 著書 ]

- ①〔共著〕高齢社会白書2019  
全国老人福祉問題研究会編（本の泉社，2019）
- ②〔共著〕人権としての社会保障－人間の尊厳と住み続ける権利－  
矢嶋里絵他編（法律文化者，2013）
- ③〔共著〕地域福祉論－地域福祉の理論と方法－  
精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会編（へるす出版，2009）

## [ 論文 ]

- ①〔単著〕生活援助サービス  
月刊ゆたかなくらし No.400 高齢者福祉白書、全国老人福祉問題研究会、2016.

②〔共著〕過疎集落の生活実態にみる政策課題—珠洲市内三集落調査より— 金沢大学環日本海域環境研究センター 日本海域研究 第44号、2013.
③〔単著〕イギリスにおける高齢者の自立・自律生活を支える実践に学ぶ—リーズ市の“Reablement Service”を中心に— 会津大学短期大学部 研究紀要 第70号、2013.
④〔単著〕高齢者の生活継続を支える地域支援のあり方に関する一考察 会津大学短期大学部 研究紀要 第69号、2012.
⑤〔単著〕配食サービス利用者調査からみた高齢者の地域生活支援の現状と課題 会津大学短期大学部 研究年報 第68号、2011.
⑥〔単著〕生活援助サービス—配食サービス利用者調査の結果をもとに 月刊ゆたかなくらし No.350、全国老人福祉問題研究会、2011.
⑦〔単著〕社会福祉サービス供給体制の現状と課題—介護保険制度を中心に— 会津大学文化研究センター 研究年報 第16号、2010.
⑧〔単著〕配食サービス利用者の生活実態調査結果から読み取れる『老老介護』 月刊 ゆたかなくらし No.335、全国老人福祉問題研究会、2010.
⑨〔単著〕小地域における高齢者支援の取り組み—イギリスでの取り組み事例から— 会津大学短期大学部 研究年報 第66号、2009.
〔 調査報告書 〕
「生活支援相談員の活動状況に関するアンケート」結果（一次）報告書（2017）
〔 社会的活動 〕
①大熊町社会福祉協議会中期ビジョン計画運営委員会委員
②会津若松市介護保険運営協議会委員
③福島県公害審査会委員



幼児教育学科 講師 修士（コミュニティ福祉学） 修士（公共政策）

スズキ イサオ

鈴木 勲

○所属学会・協会 / 日本子ども虐待防止学会、日本教育学会、日本子ども環境学会

### ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：児童家庭福祉

#### これまでの研究

- ①子ども虐待と支援に関する研究
- ②児童相談所一時保護所研究
- ③子どもの暴力問題に関する研究

### ●現在の研究テーマおよび概要

- ①児童相談所一時保護所の現状と課題に関する研究
- ②児童養護施設退所児童のアフターケアに関する研究
- ③子どもの貧困と教育問題に関する研究

### ●相談に応じられる分野・キーワード

- ①子ども虐待への対応
- ②児童健全育成事業

キーワード：社会的養護、子ども虐待、一時保護所

### ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

#### [ 著書 ]

- ①『よりそい支える社会的養護Ⅰ』保育情報出版、分担執筆、2019
- ②『保育者養成のための子ども家庭福祉』大学図書出版、分担執筆、2018
- ③『児童相談所一時保護所の子どもと支援』明石書店、分担執筆2016
- ④『考え、実践する施設実習』保育出版、分担執筆、2015
- ⑤『シードブック・子ども家庭福祉』（第2版）建帛社、分担執筆、2013

⑥『子ども白書2013年度版』 本の泉社、分担執筆、2013

⑦『子ども白書2012年度版』 草土文化、分担執筆、2012

⑧『児童福祉施設・児童相談所・学校 子どもの暴力対応実践マニュアル』 建帛社、分担執筆、2011

⑨『シードブック・子ども家庭福祉』 建帛社、分担執筆、2011

[ 論文 ]

① 一時保護所の子どもの暴力予防のためのアプローチモデルの構築（共著） 金剛出版、2011

日本子ども虐待防止学会学術雑誌・学術刊行物『子どもの虐待とネグレクト』第13巻第1号（通巻第31号）

[ 社会的活動 ]

①福島県社会福祉審議会児童福祉部会事例検証（児童）臨時委員

②会津若松市地域福祉計画等評価検証会議委員

③福島県若松乳児院第三者委員

幼児教育学科 講師 博士(保健福祉学)

ヨ シ ダ ア ヤ

吉田 亜矢

○所属学会・協会 / 日本保育学会 日本家族研究・家族療法学会 日本比較文化学会

### ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：幼児教育学 保育相談 子育て支援

#### これまでの研究

①幼児の社会的スキルの発達に関する文献研究

②保育者のストレスに関する文献研究

### ●現在の研究テーマおよび概要

①乳幼児の発達と家庭環境に関する研究

### ●相談に応じられる分野・キーワード

①子育て支援

②幼保小における連携、協働

キーワード：子育て支援 保育相談

#### [ 著書 ]

①「保育内容人間関係」(共著) 大学図書 2015

②「エピソードから楽しく学ぼう 子ども理解と支援」(共著) 創成社 2014

#### [ 論文 ]

①子育て環境が母親に与える影響に関する一考察 東京純心大学紀要 現代文化学部 第21号 pp.31-39 2017

②母親の気分状態と幼児期の子どもの社会的スキルとの関連 東京純心大学紀要 現代文化学部 第20号 pp.39-46 2016

③祖父母の子育て支援と孫の社会的スキルの発達および祖父母の精神的健康(気分状態)との関連 比較文化研究 第113号 pp.263-272 2014

④家族機能が幼児の社会的スキルに及ぼす影響 高崎健康福祉大学総合福祉研究所紀要 第11巻 第1号 pp.15-25 2014

⑤幼児の社会的スキルに関する文献的展望 高崎健康福祉大学 総合福祉研究所紀要 第10巻 第1号 pp.1-20 2013

- ⑥保育者のストレスに関する文献的展望－その2－保育者のストレスに影響する諸要因 高崎健康福祉大学 総合福祉研究所紀要 第8巻 第2号 pp.1-13 2012
- ⑦保育者のストレスに関する文献的展望－その1－保育者のストレスの研究動向 高崎健康福祉大学 総合健康福祉研究所紀要 第8巻 第1号 pp.17-25 2011

[ 社会的活動 ]

- ①福島県スクールカウンセラー

幼児教育学科 講師 体育学修士

ワ タ ナ ベ タ ク ヤ

渡部 琢也

○所属学会・協会 / 日本体育学会、日本体力医学会、日本教育医学会、東海体育学会、日本運動生理学会、日本発育発達学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：発育発達学、運動生理学、トレーニング科学

## これまでの研究

- ①四足動物における歩行中の外乱に対する適応
- ②ヒトにおける歩行中の外乱に対する適応
- ③幼児期における身体組成と体力に関する研究
- ④児童期における体力に関する研究
- ⑤高齢期における体力に関する研究
- ⑥大学競技スポーツにおける実践的トレーニング

## ●現在の研究テーマおよび概要

- ①幼児期における体力に関する研究
- ②児童期における体力に関する研究
- ③高齢期における体力に関する研究

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- ①児童と体力
- ②幼児と体力
- ③高齢期における体力と運動について
- ④競技スポーツにおけるトレーニングについて

キーワード：体力、体格・運動能力、幼児、児童、高齢者、競技スポーツ、発育発達

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]

①「新運動生理学（上巻）歩行運動」真興交易株式会社医書出版部、2001.

②「21世紀の生活福祉・援助分析論」大学図書出版、2008.

[ 論文 ]

①幼児における身体組成と運動能力の相関構図の加齢変化に関する検証,教育医学56,2011

②幼児の生活リズムと生活習慣に関する年次比較,子ども学研究論集4,2012

③介護福祉職教育における介護予防運動指導員,名古屋経営短期大学紀要54,2013

④体育科教育における体づくり運動の現状について,名古屋経営短期大学紀要55,2014

⑤体育科教育における体づくり運動授業の質向上のための講習会の効果についての検討,子ども学研究論集6,2014

⑥Confirmation of motor performance Classified by Fatty-Slim Judgment derived From Regression Evaluation of Weight against Height in Preschool Children,The Korean Journal of Physical Education.53, 2014

⑦会津大学短期大学部社会福祉学科保育士養成課程在籍学生の幼稚園教諭免許の必要性和特例制度に関する調査,会津大学短期大学部研究紀要,第72号,2015

⑧体育科教育における体づくり運動への取り組みの認識と実施状況,愛知大学体育学論叢21,2015

⑨2015年度会津大学短期大学部運動技術履修者の体力,会津大学短期大学部研究紀要 第73号,2016

⑩大学生の身体的経年変化から判断される東日本大震災の影響の有無,教育医学,61,2016

⑪小学校における「体づくり運動」の状況:教員の意識調査を通して、子ども学研究論集(8)5-20、2016

⑫Establishment of Physical Growth Evaluations for Schoolchildren in Disaster Environments -Construction of body fatness tracking evaluation chart-, The International Council for Health, Physical Education, Recreation, Sport and Dance 8 41-46、2016

⑬2016年度会津大学短期大学部運動技術履修者の体力、会津大学短期大学部研究紀要 第74号、2017

⑭高齢者における体組成測定の有効性について、会津大学短期大学部研究紀要 第74号、2017

⑮高度経済成長と福島原発事故による生物学的パラメーターのリスク分析 生産管理 24 2017

[その他]

①小学校低学年・中学年向け 多様な動きを作る運動(遊び)、愛知県教育委員会、2011

②子どもの体力向上運動プログラム 多様な動きを作る運動(遊び)(小学校低学年・中学年 全36種目)DVD、愛知県教育委員会、2011

③報告書Ⅰ 愛知県における幼児の体格・運動能力に関する年代変化(1969年~2009年調査)、子どもの発育発達研究会、2011

④報告書Ⅱ 愛知県における幼児の生活リズム・生活行動・遊び環境の実態(2009年調査)、子どもの発育発達研究会、2011

⑤小学校低学年・中学年向け 多様な動きを作る運動（遊び）「活用事例集」、愛知県教育委員会、2013

⑥活用事例集を活かした「指導案例」、愛知県教育委員会、2013

⑦学校体育における運動遊び、子どもと発育発達Vol11 No.2、2013

⑧平成25年度子どもの体力向上運動プログラム「小学校高学年向け」、愛知県教育委員会、2014

⑨健康づくりに取り組むために、ゆう&ゆう、2014

⑩運動が苦手な子への教育および支援のポイント、健康教室2014年12月号、2014

⑪会津の伝承遊び、子どもと発育発達Vol12、2015

#### [ 社会的活動 ]

①新城市教育委員会 文部科学省「子どもの体力向上実践事業」実行委員会委員（平成19年3月まで）

②豊橋市生涯スポーツ推進市民会議委員（平成26年3月まで）

③新城市教育委員会 文部科学省「運動部活動活性化推進事業」調査研究協力者会議委員（平成22年3月まで）

④愛知県教育委員会 体育スポーツ実践講座 講師（平成26年3月まで）

⑤愛知県教育委員会 子どもの体力向上支援委員会委員（平成26年3月まで）

⑥愛知県教育委員会 体育スポーツ実践講座 講師 「体づくり運動」（講義、実技）（平成26年3月まで）

⑦愛知県教育委員会 地域を活用した学校丸ごと子どもの体力向上推進事業に係る子どもの体力向上支援委員会委員（平成26年3月まで）

## 幼児教育学科 講師 教育学修士

ハ ヤ マ リ ョ ウ ソ ウ

## 葉山 亮三

○所属学会・協会 / 日本美術教育学会、日本基礎造形学会、大学美術教育学会、日本保育学会、ものづくり教育会議

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：造形教育

## これまでの研究

- ①こどもを対象とした造形教育の教材研究
- ②造形活動における意欲喚起の方法
- ③作品制作による表現、及び素材研究

## ●現在の研究テーマおよび概要

- ①リピーテーションを用いた造形教育の指導法
- ②場の特性、地産を活用した造形表現
- ③素材の原体験を活用した表現方法

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- ①図画工作、美術科の教育教材
- ②絵画、造形表現のワークショップ

キーワード：造形教育、ワークショップ

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

## [ 著書 ]

- ①「図画工作・基礎造形－美術教育の内容－」 建帛社 2016 共著

## [ 論文 ]

- ①造形教育における意欲の喚起・リズム 愛知教育大学大学院修士論文 2007
- ②感性・創造の授業実践報告－様々な素材体験が培う感じて考える力－ 共著 愛知教育大学紀要 2015
- ③教育実習に向けた図画工作科研究－素材、技法、幼児への理解－ 会津大学短期大学部 幼児教育研究 第2号 2016



④ 幼児・児童の構成表現とその指導法 会津大学短期大学部研究紀要 第74号 2016

⑤ 3. 地域、環境を結ぶ造形表現 -小さな黄色い手紙プロジェクト実践報告- 会津大学短期大学部 幼児教育研究4号 2018

[ 社会的活動 ]

会津若松市地域学校協働事業部 評価・検証委員会 委員 (2017年4月-2019年3月)

## 幼児教育学科 講師 修士（教育学）

サ ク ラ イ ナ オ キ

## 櫻井 直輝

○所属学会・協会 / 日本教育行政学会, 日本財政学会, 日本教育経営学会, 日本教育政策学会, 日本教師教育学会, 関西教育行政学会, 日本教育学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：教育行政，教育財政，教師教育，国際学力調査

## これまでの研究

- ①学校統廃合政策に関する研究
- ②地方教育行政の規模に関する研究（教育事務所の統廃合など）
- ③教職員人事に関する研究
- ④アメリカ教師教育政策に関する研究
- ⑤OECD-PISA調査に関する研究
- ⑥基礎自治体の教育予算編成と財政制度に関する研究
- ⑦教員育成協議会と教員育成指標に関する研究

## ●現在の研究テーマおよび概要（上記，①～⑤に対応しています）

- ②教育事務所統廃合による教職員人事行政，学校指導行政の変容について（共同研究）
- ③文部科学省国立教育政策研究所と共同で，県費負担教職員の人事異動実態調査（共同研究）
- ④アメリカを中心に，全米の教育改革動向と州における教師教育の変容について（共同研究）
- ⑤国立教育政策研究所国際共同研究室と共同で，OECD-PISA調査の結果分析を行っています（共同研究）
- ⑥科研費「市町村教育予算の規定要因として地方交付税制度に関する研究」（18K13076）

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- ①地方教育行政に関すること
- ②教師教育に関すること
- ③PISA調査に関すること

キーワード：教育行政、教育財政、地方財政、教育委員会、国際学力調査

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

## 〔著書〕

- ①国立教育政策研究所訳『PISA2012年調査 評価の枠組み——OECD生徒の学習到達度調査』経済協力開発機構(OECD) 編著 明石書店 2016年8月 ISBN:4750343811
- ②国立教育政策研究所訳『21世紀のICT学習環境——生徒・コンピュータ・学習を結び付ける (OECD生徒の学習到達度調査(PISA))』経済協力開発機構(OECD) 編著 明石書店 2016年8月 ISBN:4750343803
- ③国立教育政策研究所監訳『PISA2015年調査 評価の枠組み OECD生徒の学習到達度調査』経済協力開発機構(OECD) 編著 明石書店 2016年11月 ISBN 9784750344331
- ④国立教育政策研究所編『生きるための知識と技能6 OECD生徒の学習到達度調査 (PISA) 2015年調査国際結果報告書』 明石書店 2016年12月 ISBN 9784750344409

## 〔論文〕

- ①「学校統廃合政策の財政効果」『日本教育行政学会年報』(38) 99-115頁, 2012年 (査読あり)
- ②「昭和町村合併期における中央政府の公立小中学校統廃合政策の分析」『日本教育政策学会年報』(21) 178-190頁, 2014年 (査読あり)
- ③「市町村合併による県費負担教職員人事行政の変容」『国立教育政策研究所紀要』(146) 125-138, 2017年 (共著・査読あり)

## 〔社会的活動〕

- ①平塚市立旭陵中学校 外部評価委員 (2011年)
- ②春日部市小中一貫教育及び学校再編検討会議 委員(2012-2013年)
- ③国立教育政策研究所 フェロー (2015年～)
- ④福島県立会津学鳳中学校・高等学校 学校評議員 (2017年～)
- ⑤会津若松市教育委員会 教育に関する事務の管理及び 執行状況の点検・評価外部有識者 (2017年～)

会津大学短期大学部地域活性化センター

〒965-8570 会津若松市一箕町大字八幡字門田 1-1

TEL : 0242-23-7034

FAX : 0242-37-2412

URL : <http://www.jc.u-aizu.ac.jp/>

E-mail : [chiiki@jc.u-aizu.ac.jp](mailto:chiiki@jc.u-aizu.ac.jp)